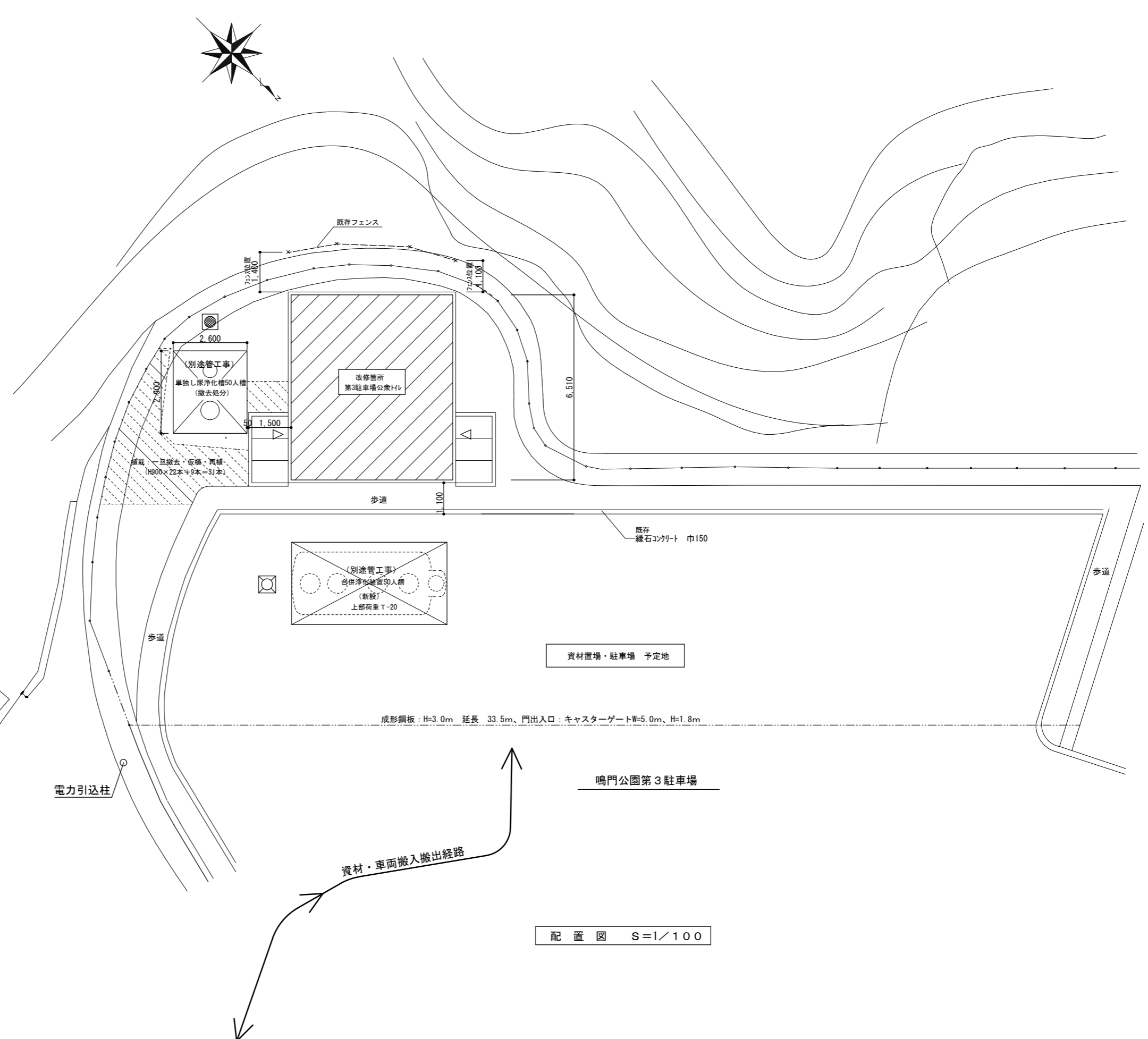


R 2 営繕 鳴門公園 鳴・鳴門 第3駐車場公衆トイレ改修工事建築

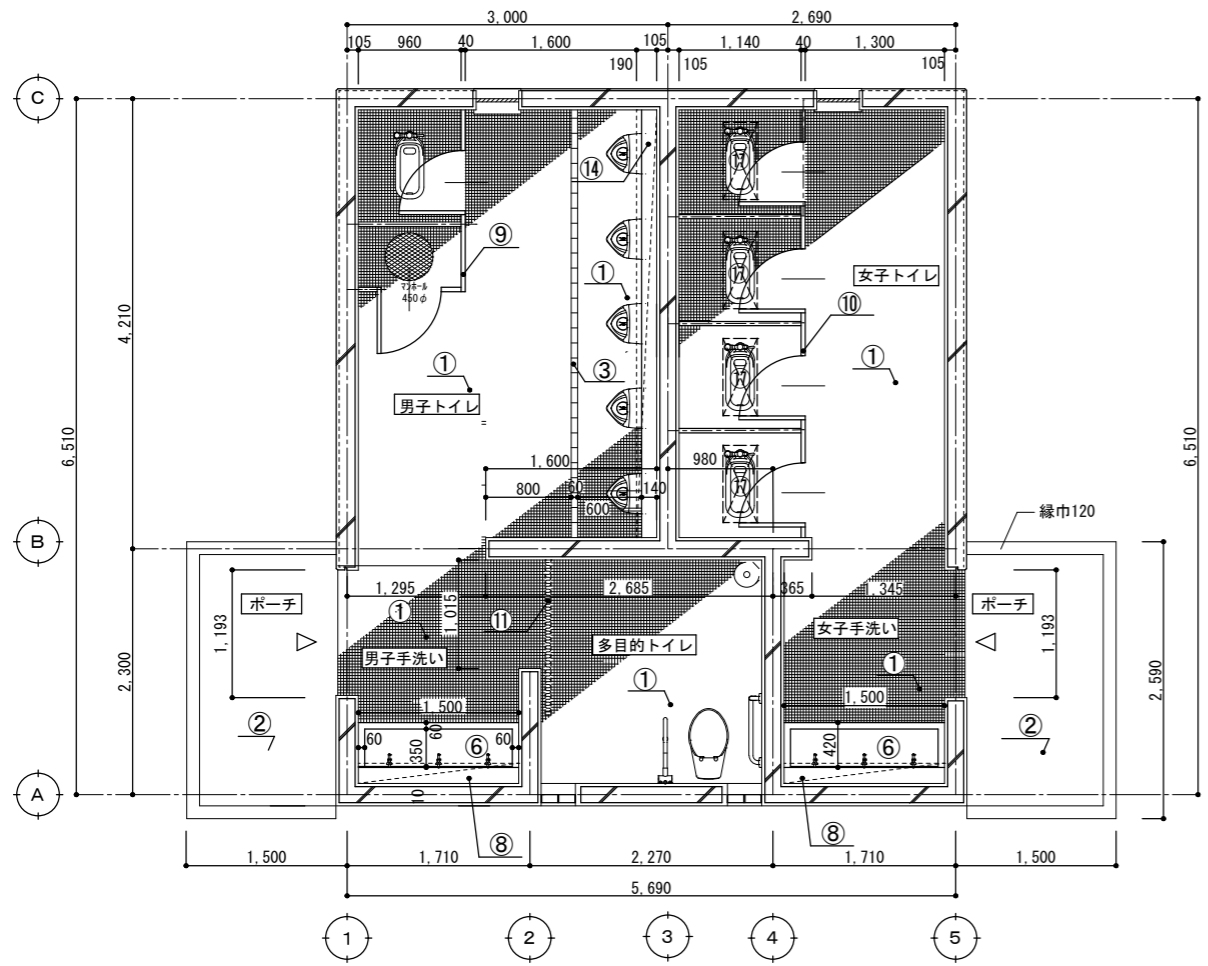
図面目録			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-1	特記仕様書(1)	A-9	展開図(現況)
A-2	特記仕様書(2)	A-10	展開図(改修後)
A-3	特記仕様書(3)	A-11	屋根伏図(現況)→(改修後)
A-4	付近見取図 配置図	A-12	屋根断面図(現況)→(改修後)
A-5	平面図(現況)→(改修後)、内部仕上表、天井伏図(現況)	A-13	屋根軒先詳細図(現況)→(改修後)
A-6	立面図(現況)→(改修後)、外部仕上表、外壁調査数量表	A-14	屋根水上・下り棟詳細図(現況)→(改修後)
A-7	断面図(現況)	E-1	電気工事特記仕様書
A-8	建具表、建具配置図(現況)→(改修後)	E-2	電気設備図(現況)→(改修後)

課長	副課長	課長補佐	主査兼係長	係長	課員	担当

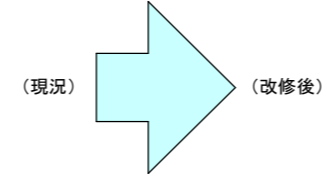
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																		
<p>6. シーリング</p> <p>7. 防水保証</p> <p>§4章 外壁改修工事</p> <p>1. 外壁改修の施工数量及び調査方法</p> <p>2. 外壁改修工法の種類及び材料</p> <p>§5章 建具改修工事</p> <p>1. 一般事項</p> <p>2. 改修工法等</p> <p>3. フェノール樹脂建具</p> <p>4. 建具用金物</p> <p>§6章 内装改修工事</p> <p>1. 一般事項</p> <p>2. 合成樹脂塗床</p> <p>§7章 塗装改修工事</p> <p>1. 一般事項</p> <p>2. 耐候性塗料塗り(DP)</p> <p>3. 合成樹脂エマルジョンペイント塗料(EP)</p> <p>§8章 左官改修工事</p> <p>1. 一般事項</p> <p>2. モルタル塗り</p> <p>3. 仕上げ塗材仕上げ</p>	<p>◎ 種類及び施工箇所</p> <table border="1" data-bbox="278 117 946 170"> <tr> <th>記号</th> <th>材質</th> <th>既存</th> <th>施工箇所</th> <th>改修工法</th> <th>寸法</th> <th>接着試験</th> </tr> <tr> <td>MS-2</td> <td>変成シリコン</td> <td></td> <td>防水押え金物</td> <td>既存撤去</td> <td>10×10</td> <td></td> </tr> </table> <p>◎ 防水工事完了後は、メーカー、元請業者、下請業者の3者連名による。 (3・5・7・10)年間の防水工事性能保証書を提出すること。</p> <p>◎ 当工事の積算計上数量は、全体調査数量を調査した数量を計上している。</p> <p>◎ 施工数量は、次の調査により監督員が承諾し確定した数量に基づき設計変更を行う。(設計変更単価は、単価で行う)</p> <p>◎ 外部足場設置後、施工数量調査を行う。</p> <p>◎ 調査に先立ち、調査内容及び方法等の計画書を作成し監督員の承諾を得ること。また、調査方法等で専門知識が必要な場合は、各工法・材料の専門技術者(製造所等)に依頼すること。</p> <p>◎ コンクリート打ち放し仕上げ外壁</p> <table border="1" data-bbox="278 426 967 665"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>ひび割れ部</th> <th>欠損部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>工法：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：硬質系エポキシ樹脂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル充填工法</td> <td></td> <td>鼻隠し面4周鉄筋露出部 ・鉄筋露出部全てケレン後、防錆塗 ・プライマー塗布 ・モルタル塗現況に復元 材料：エポキシ樹脂モルタル</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ エポキシ樹脂及びポリマーセメントモルタルの製造所：評価名簿による。</p> <p>◎ 施工に先立ち、改修範囲を確認し、設計図書との相違等があれば、監督員と協議すること。</p> <p>◎ 図示による。</p> <p>◎ トイレブースの隔壁パネルの厚みは18mm、ドアは13mmとし、引戸の厚みは13mmとする(建具表による)。</p> <p>◎ 既製又はこれに準ずる建具の建具金物は、建具製作所の仕様による。</p> <p>◎ 工事に先立ち、改修部分の隠蔽部の調査を行い、設計図書と照合し、支障があった場合は、速やかに監督員に報告し、指示を受けること。</p> <p>◎ 各部の撤去により、下地及び構造躯体にひび割れ及び欠陥部が発見された場合は、速やかに監督員に報告し指示を受けること。</p> <table border="1" data-bbox="278 951 979 1031"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材質</th> <th>仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内部床面</td> <td>エポキシ樹脂塗床 (防汚仕様)</td> <td>薄膜型塗床材</td> <td>下地：特殊プライマー塗(磁器質タイル用) 下地調整：樹脂モルタル4mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防霉材)を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <p>◎ 防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。</p> <p>◎ 塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。</p> <p>◎ ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防霉剤)を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <table border="1" data-bbox="278 1329 979 1440"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>上塗りの等級</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コケリト打放し吹付塗装面</td> <td>A種</td> <td>R B種</td> <td>1級</td> <td>外壁・軒天・鼻隠し・屋根立上り</td> </tr> <tr> <td>塩ビ面(塗替)</td> <td>A種</td> <td>R B種</td> <td>3級</td> <td>堅礎</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="278 1461 979 1539"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軽量骨材吹付面</td> <td>A種</td> <td>R A種</td> <td>天井(はけ塗又はローラー塗)</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ 下地調整に用いる吸水調整材の使用方法は、製造所の仕様による。</p> <p>◎ コンクリート等面の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行って、次の層の塗り方にかかる。</p> <p>◎下地、塗り面等の浮いている部分は、直ちに補修する。</p> <table border="1" data-bbox="278 1675 979 1734"> <thead> <tr> <th>使用箇所</th> <th>仕上の種類</th> <th>目地の材質</th> <th>防水の有無</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外壁</td> <td>金コテ</td> <td>目地棒</td> <td>無</td> <td>仕上げ塗材下地</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ 目地の位置及び寸法は、図示による。</p> <p>◎仕上塗材は、JIS A 6909(建築用仕上塗材)による。なお、下塗材、増塗材、主材及び上塗材は、同一製造所の製品とする。</p> <table border="1" data-bbox="278 1839 979 1902"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>上塗材</th> <th>仕上げの形状</th> <th>耐候性</th> <th>工法</th> <th>防火認定</th> <th>下地仕上</th> <th>下地調整</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>複層仕上塗材</td> <td>複層塗材RE</td> <td>77系水系</td> <td>ゆず肌</td> <td>—</td> <td>ローラー</td> <td>—</td> <td>モルタル金コテ</td> <td>C-1</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ 所要量等の確認は、(標仕表15.5.4.単位面積当たりの使用量)による。</p>	記号	材質	既存	施工箇所	改修工法	寸法	接着試験	MS-2	変成シリコン		防水押え金物	既存撤去	10×10		工法	ひび割れ部	欠損部	樹脂注入工法	工法：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：硬質系エポキシ樹脂		モルタル充填工法		鼻隠し面4周鉄筋露出部 ・鉄筋露出部全てケレン後、防錆塗 ・プライマー塗布 ・モルタル塗現況に復元 材料：エポキシ樹脂モルタル	施工箇所	材質	仕上げの種類	備考	内部床面	エポキシ樹脂塗床 (防汚仕様)	薄膜型塗床材	下地：特殊プライマー塗(磁器質タイル用) 下地調整：樹脂モルタル4mm	区分	種別	下地調整	上塗りの等級	備考	コケリト打放し吹付塗装面	A種	R B種	1級	外壁・軒天・鼻隠し・屋根立上り	塩ビ面(塗替)	A種	R B種	3級	堅礎	区分	種別	下地調整	備考	軽量骨材吹付面	A種	R A種	天井(はけ塗又はローラー塗)	使用箇所	仕上の種類	目地の材質	防水の有無	備考	外壁	金コテ	目地棒	無	仕上げ塗材下地	種類	呼び名	上塗材	仕上げの形状	耐候性	工法	防火認定	下地仕上	下地調整	複層仕上塗材	複層塗材RE	77系水系	ゆず肌	—	ローラー	—	モルタル金コテ	C-1	<p>§9章 屋根改修工事</p> <p>1. 一般事項</p> <p>2. 金属板葺</p> <p>§10章 その他改修工事</p> <p>1. 高圧水洗浄</p> <p>2. ピクトサイン</p> <p>3. 内装壁タイル貼替(部分貼替え)</p> <p>4. ライニング</p> <p>5. 補栽</p> <p>§11章 とりこわし工事</p> <p>1. トイレブース</p> <p>2. アコーディオンドア</p> <p>3. 手洗い</p> <p>4. 鏡</p> <p>5. 化粧棚</p> <p>6. 便器(別途管工事)</p> <p>7. ピクトサイン</p> <p>§12章 電気設備改修工事</p>	<p>◎ 屋根葺き材、緊結金物については、下地も含め安全性を確認し、監督員の承諾を得ること。</p> <p>◎ 標準仕様書以外の工法は、専門業者の仕様による。</p> <p>◎ 建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 $V_0 = (36) \text{ m/s}$、 地表面粗度区分 $(I \cdot II \cdot III \cdot IV)$ 積雪区分 建設省告示第1455号 別表(30cm)</p> <p>◎ 屋根葺き形式 ・横葺き ・既存アスファルトシングル葺撤去 ・材質：ガルバリウム鋼板 0.4mm、断熱バックアップ材：発泡ポリスチレン板(元旦スプリングルーフ800D型程度)</p> <p>◎ 下葺き ・改質アスファルトルーフィング 1.2mm タック付</p> <p>◎ 軒先唐草 ・屋根同材加工</p> <p>◎ 様包み ・屋根同材加工、下地フレーム：ガルバリウム鋼板 0.8mm加工</p> <p>◎ 下り棟 ・屋根同材加工、下地フレーム：ガルバリウム鋼板 0.8mm加工</p> <p>◎ 指定のない付属材料は、屋根葺工法に応じた専門工事業者の仕様による。</p> <p>◎ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔、固定方法を施工計画書として提出する。</p> <p>◎ 建物外部(屋根コンクリート面・屋上シート防水面・外壁等)及び内部土間の高圧洗浄を行う(仕上表及び図示による)</p> <p>◎ 圧力は、60～80kg f /0㎡程度とし、現状に応じて圧力の調整をおこなっても良いが、監督員と協議のこと。</p> <p>◎ 本体：ステンレスヘアライン 250×500、サイン：カラーシート貼、男・身障者、英語表示共(図示による)</p> <p>◎ 本体：ステンレスヘアライン 250×250、サイン：カラーシート貼、女、身障者、英語表示共(図示による)</p> <p>◎ トイレブース・手洗い等撤去跡の露出面損傷部分周囲をカッター切後、撤去とする(展開図参照)。</p> <p>◎ 撤去跡は水洗い、薄塗モルタル塗で下地整えのうえ、既存同等品改良積上げ貼とする。(展開図参照)</p> <p>◎ 貼替え工法を状況に応じて変更する場合は監督員と協議し、承認を得ること。</p> <p>◎ 仕上材：表面メラミン化粧板3mm貼 巾木：塩ビ製 H=60mm、下地：LGS50mm+耐水ベニヤ15mm。</p> <p>◎ 面台天板：ポストフォーム 19mm×300mm W=1500mm。</p> <p>◎ 既存浄化槽撤去(管工事)に伴い、周辺のツツギ等の植栽を伐根・敷地内に仮植・再植とする(低木H=900、約31本)。</p> <p>◎ 隔壁板：テラゾーブロック40mm、扉：アルミ製(男子トイレ・女子トイレ)</p> <p>◎ 塩ビ製 W=1,300 H=2,330 アルミレール共 1箇所(多目的トイレ)</p> <p>◎ 人磁ぎ仕上げ、W=1,460 D=525 H=320 2箇所(男子・女子)</p> <p>◎ W=350 H=450 6枚(男子・女子)</p> <p>◎ テラゾーブロックW1,500×D190 厚30mm 2箇所(男子手洗い・女子手洗い)</p> <p>◎ 和式便器 4箇所(女子トイレ)</p> <p>◎ 男・女・身障者：250×250 ステンレス 3枚</p> <p>◎ 電気設備改修特記仕様書による。</p>		
記号	材質	既存	施工箇所	改修工法	寸法	接着試験																																																																																	
MS-2	変成シリコン		防水押え金物	既存撤去	10×10																																																																																		
工法	ひび割れ部	欠損部																																																																																					
樹脂注入工法	工法：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：硬質系エポキシ樹脂																																																																																						
モルタル充填工法		鼻隠し面4周鉄筋露出部 ・鉄筋露出部全てケレン後、防錆塗 ・プライマー塗布 ・モルタル塗現況に復元 材料：エポキシ樹脂モルタル																																																																																					
施工箇所	材質	仕上げの種類	備考																																																																																				
内部床面	エポキシ樹脂塗床 (防汚仕様)	薄膜型塗床材	下地：特殊プライマー塗(磁器質タイル用) 下地調整：樹脂モルタル4mm																																																																																				
区分	種別	下地調整	上塗りの等級	備考																																																																																			
コケリト打放し吹付塗装面	A種	R B種	1級	外壁・軒天・鼻隠し・屋根立上り																																																																																			
塩ビ面(塗替)	A種	R B種	3級	堅礎																																																																																			
区分	種別	下地調整	備考																																																																																				
軽量骨材吹付面	A種	R A種	天井(はけ塗又はローラー塗)																																																																																				
使用箇所	仕上の種類	目地の材質	防水の有無	備考																																																																																			
外壁	金コテ	目地棒	無	仕上げ塗材下地																																																																																			
種類	呼び名	上塗材	仕上げの形状	耐候性	工法	防火認定	下地仕上	下地調整																																																																															
複層仕上塗材	複層塗材RE	77系水系	ゆず肌	—	ローラー	—	モルタル金コテ	C-1																																																																															
徳島県県土整備部営繕課		工事名称 R2営繕 鳴門公園 鳴・鳴門 第3駐車場公衆トイレ改修工事建築 図名 特記仕様書(3)	図面番号 A-3 縮尺 A2 A3	max 株式会社 マックス設計 Urban Consultant 大臣登録 第302457号 知事登録 第61074号 一級建築士 田 潤 宏 樹	〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840																																																																																		



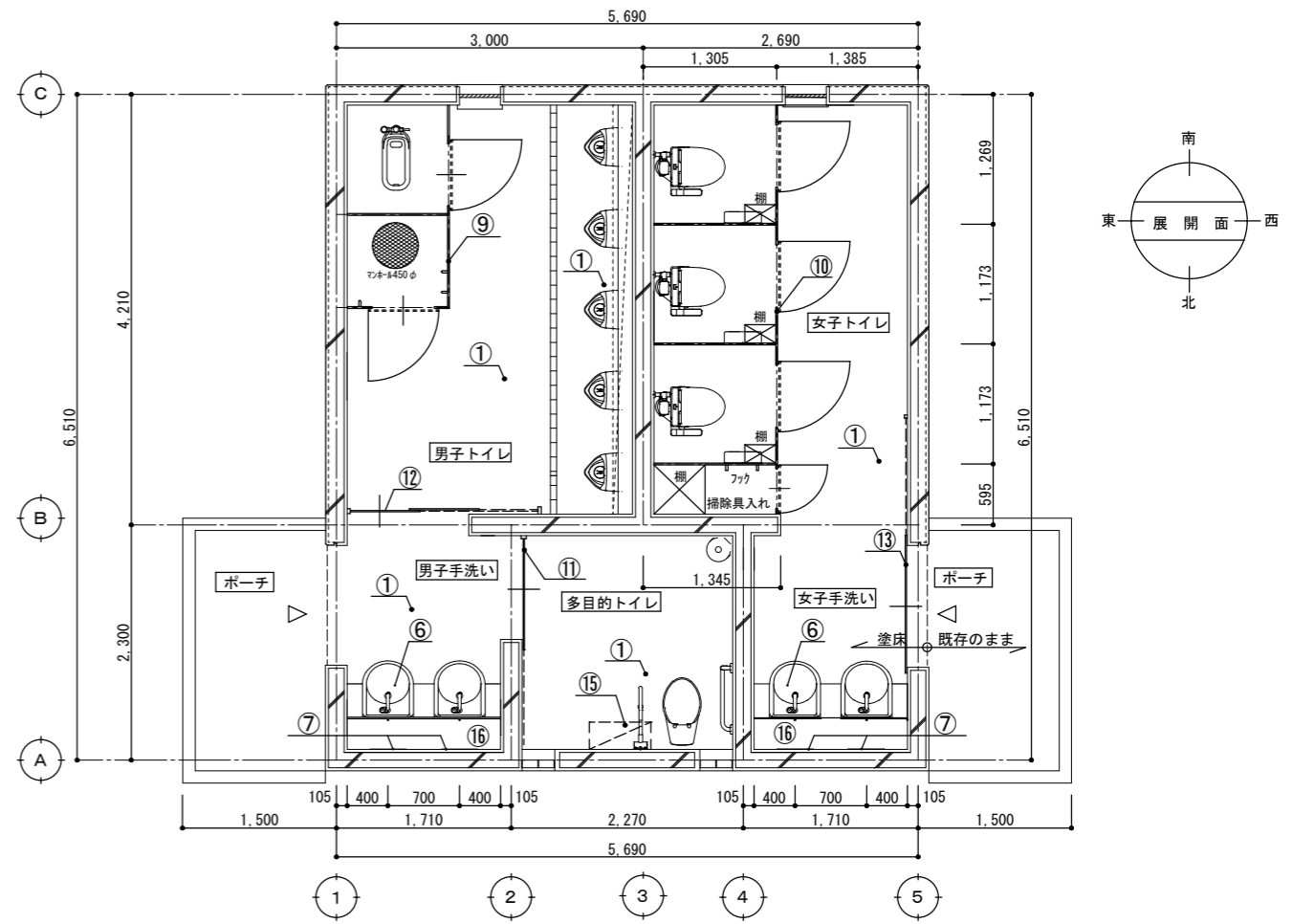
徳島県土整備部営繕課	工事名称	R2営繕 鳴門公園 鳴・鳴門 第3駐車場公衆トイレ改修工事建築	図面番号	A-4	max 株式会社 マックス設計 <small>Urban Consultant</small> 大臣登録 第302457号 知事登録 第61074号 一級建築士 田 淵 宏 樹	〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840	
	図名	付近見取図 配置図	縮尺	<table border="1"> <tr> <td>A2</td> <td>1/100</td> </tr> <tr> <td>A3</td> <td>1/143</td> </tr> </table>			A2
A2	1/100						
A3	1/143						



(現況) 平面図 S=1/50



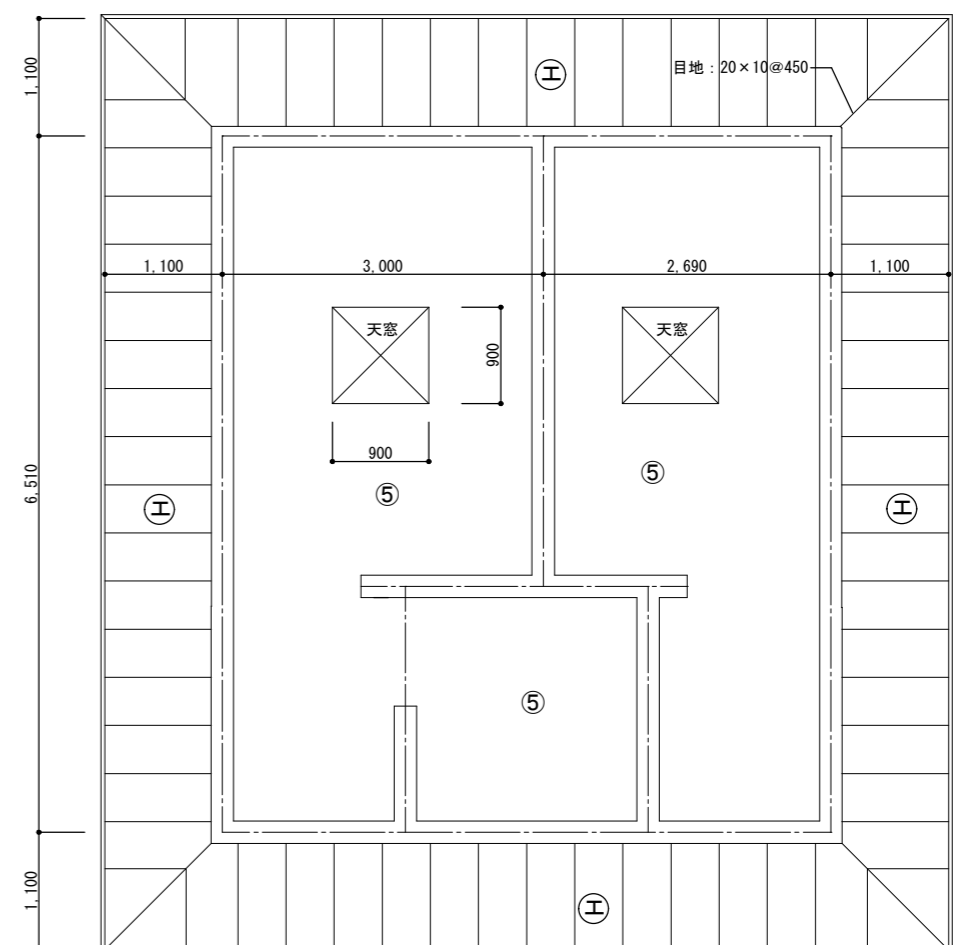
改修床面積 (m2)		37.04
女子トイレ	11.323	
男子トイレ	12.63	
女子手洗い	3.933	
男子手洗い	3.933	
多目的トイレ	5.221	



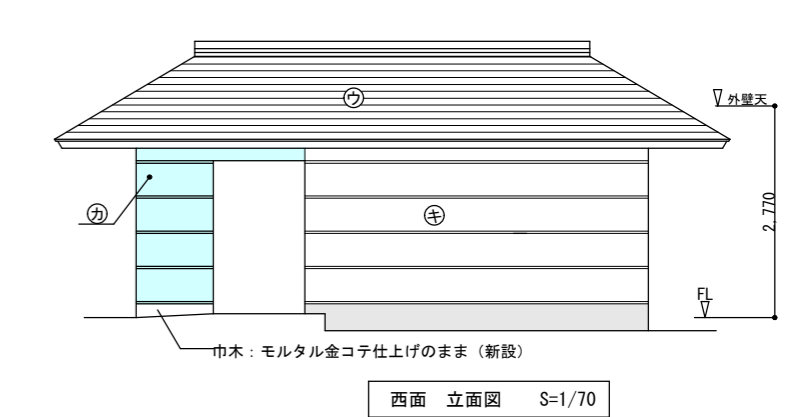
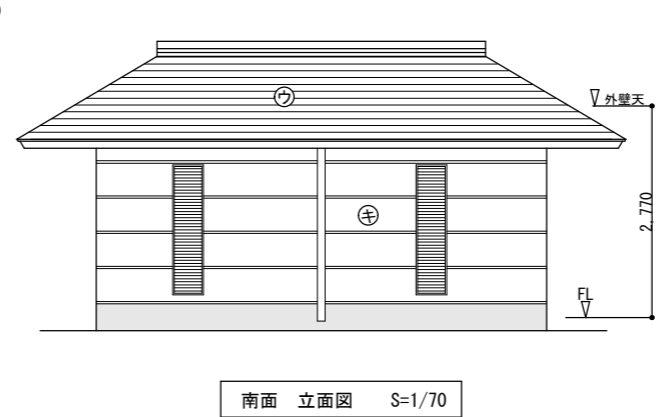
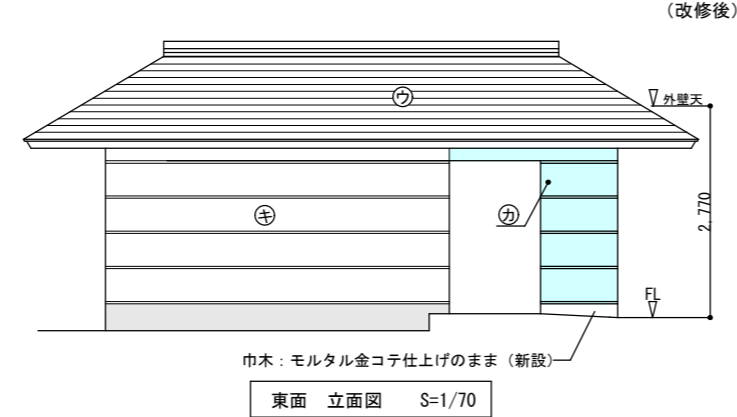
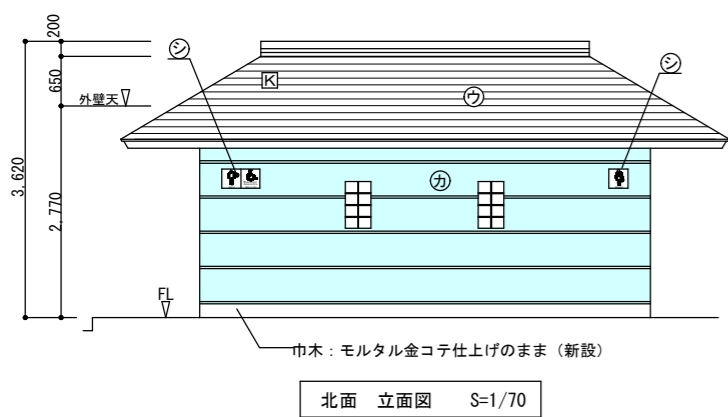
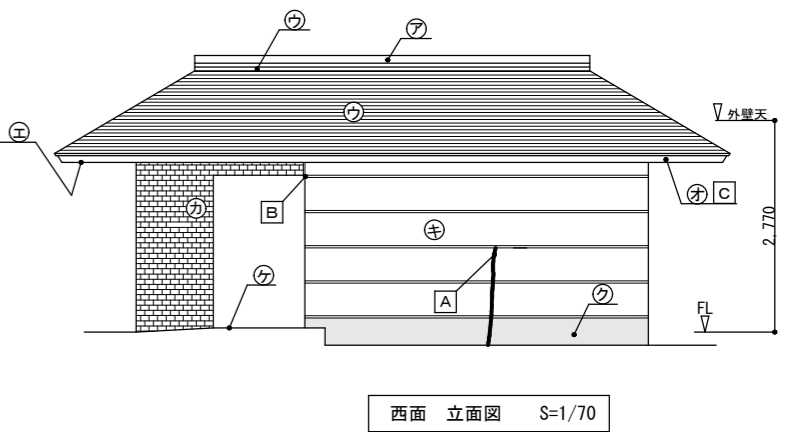
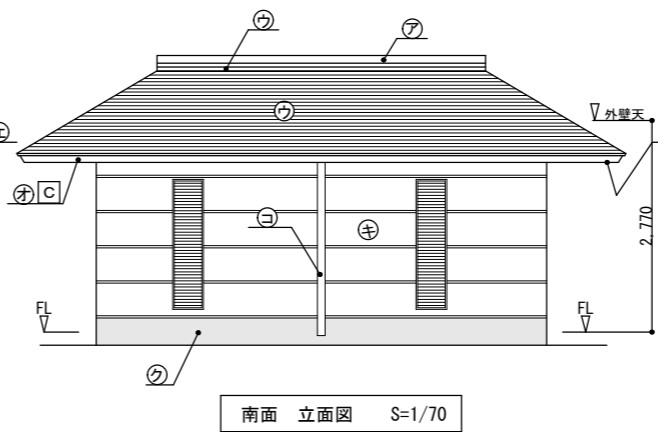
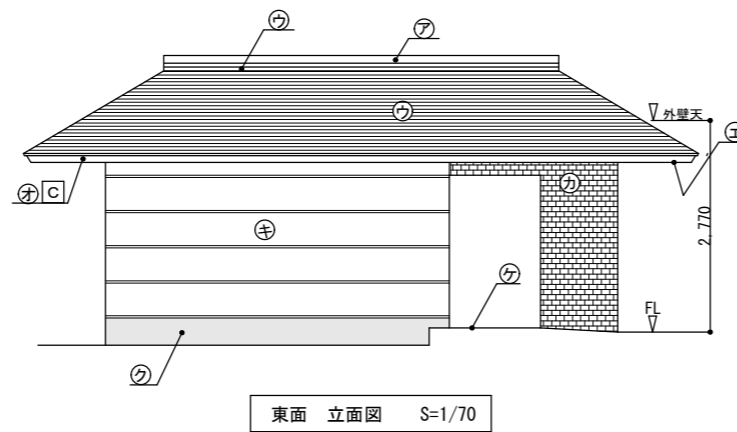
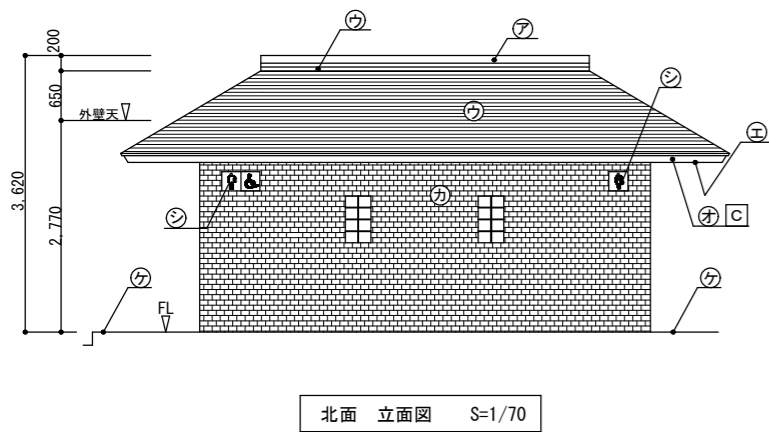
(改修後) 平面図 S=1/50

内部仕上表					
番号	名称	現況	改修	現況	改修
①	床	25角モザイクタイル貼	現況のまま	防滑塗床仕上 (新設)	高圧水洗浄後、特殊プライマー塗 不陸調整 (樹脂モルタル4mm) + エポキシ塗床1.5mm (防滑仕様) 仕上塗
②	ポーチ床	豆砂利洗い出し、縁：モルタルコテ押え	現況のまま	---	---
③	段鼻 (小便器用) 平場	ノンスリップタイル140×60貼	現況のまま	---	---
		段鼻 (小便器用) 立上り			
④	壁 (男女)	100角カラータイル貼	現況のまま	---	展開図参照
④-A	壁 (男女)	100角カラータイル貼損傷部	撤去処分	既存同等品 (貼替)	トイレブース等撤去跡露出面損傷部分貼替、撤去跡下地整え薄塗モルタル塗共 (展開図参照)
⑤	天井 (男女)	軽量骨材吹付 (パ-ライト)、コンクリート打放し下地	吹付仕上撤去処分	E P 塗 (新設)	既存撤去跡を下地処理の上 E P 塗仕上 (天窓立上げ部分共)
⑥	手洗い (男女)、水栓共	人砥W1,460×D525×H320	撤去処分	カウンター式手洗い新設 (別途管工事)	---
⑦	鏡 (男女)	W350×H450 6枚	撤去処分	角形鏡 (新設) (別途管工事)	---
⑧	化粧棚 (男女)	テラゾーブロックW1,500×D190 厚30mm	撤去処分	---	---
⑨	トイレブース (男子)	テラゾーブロック H2000 厚40mm	撤去処分	トイレブース (新設)	隔壁板：フェノール樹脂板18mm、ドア：フェノール樹脂板13mm (建具表参照)
⑩	トイレブース (女子)	テラゾーブロック H2000 厚40mm	撤去処分	トイレブース (新設)	隔壁板：フェノール樹脂板18mm、ドア：フェノール樹脂板13mm (建具表参照)
⑪	出入口扉 (多目的トイレ)	アコーディオンドアW1300×H2,330	---	片引戸 (新設)	フェノール樹脂板13mm、(建具表参照)
⑫	" (男子トイレ)	---	---	2連片引戸 (新設)	"
⑬	" (女子トイレ)	---	---	片引戸 (新設)	"
⑭	男子トイレ面台	テラゾーブロックW4,000×D190 厚30mm	現況のまま	---	---
⑮	---	---	---	収納キャビネット (新設)	本体・扉：600×267×300 木質+コート紙 市販品 YSC36BY (TOTO) 程度
⑯	---	---	---	ライニング (新設)	LGS50下地、耐水ベニヤ15mm下地、メラミン化粧板3mm貼仕上 天板：ポストフォーム19mm×300mm、巾木：塩ビH=60
⑰	女子便器	和式便器 4箇所	撤去処分 (別途管工事)	撤去跡土間コンクリート復旧 (補強共) 洋式便器 (新設) (別途管工事)	便器撤去跡：異形鋼D10@200桁・30配筋、土間厚200mm (土間コンクリートに穴明け、差込固定) 鉄筋コンクリートFC21=18-15打ち、金コテ押え仕上 (塗床下地)

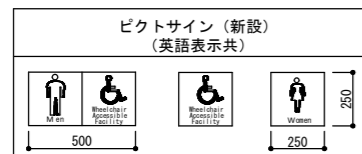
特記事項：既存便器撤去跡補強は本工事とする。



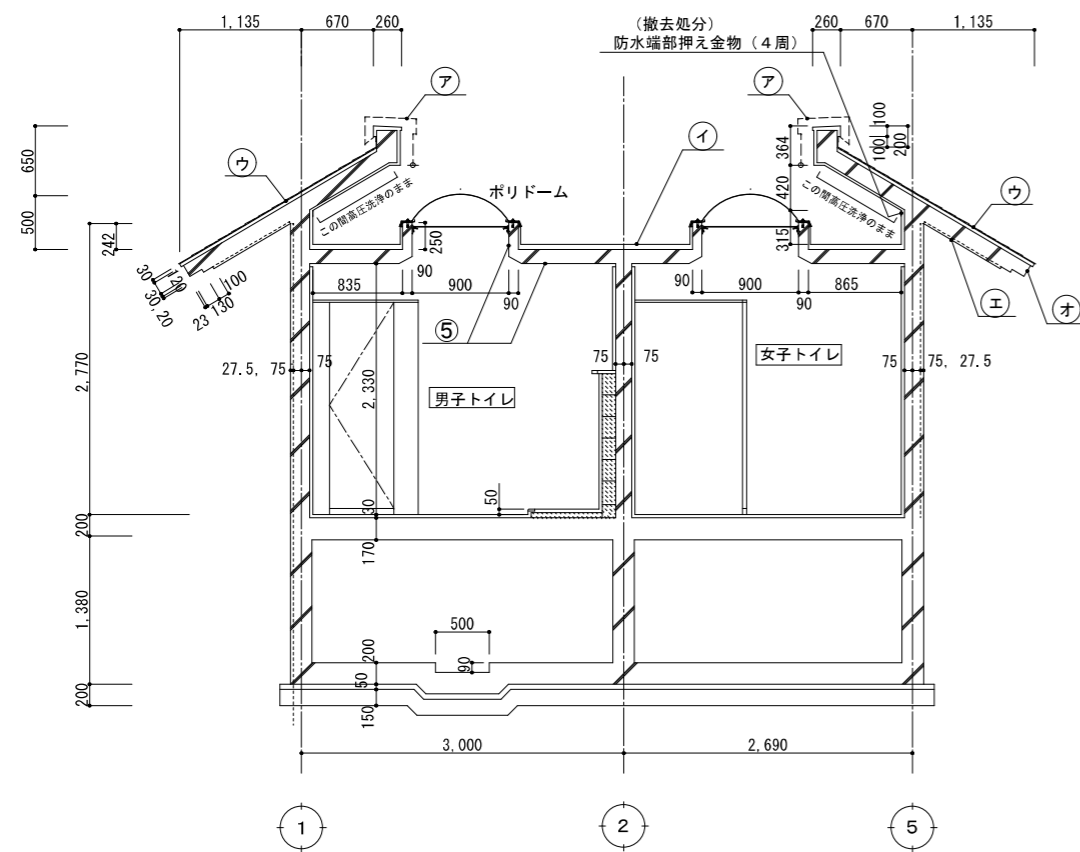
(現況) 天井伏図 S=1/50



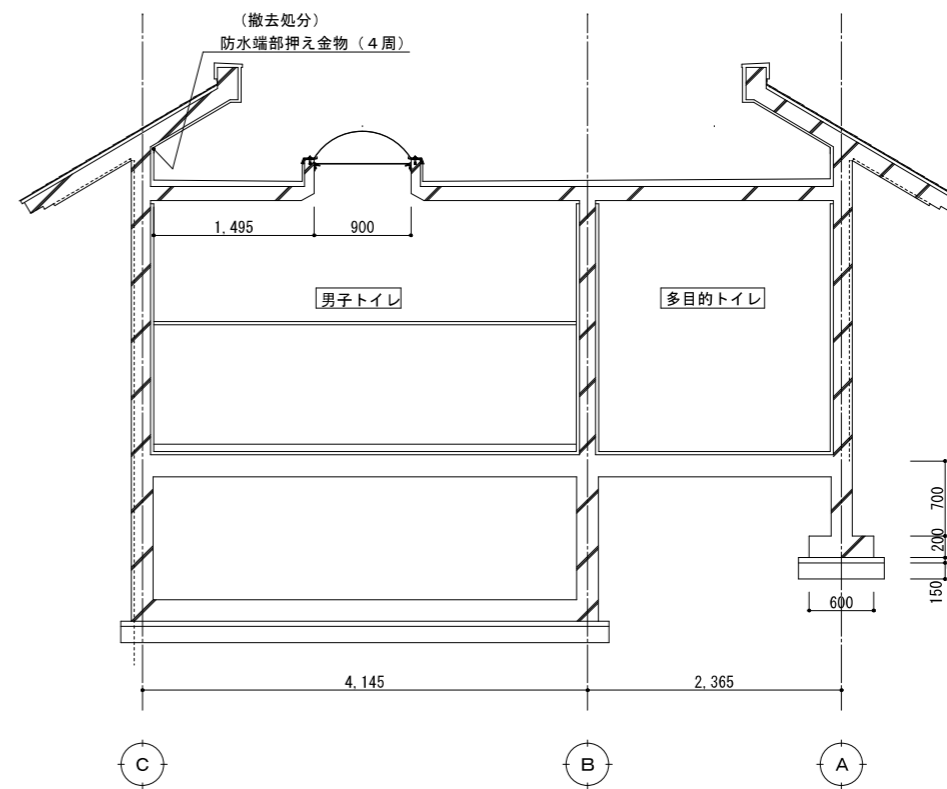
符号	現況	改修
A	ひび割れ (コンクリート打放し) 0.2mm~1.0mm未満 1.3m	硬質エポキシ樹脂注入工法で修理
B	打放しコンクリート欠損 40×40×40×1箇所 凡例	エポキシ樹脂モルタル充填
C	鉄筋露出 鼻隠し面4周	充填工法 (欠損補修) 鉄筋露出部全てケレン後防錆塗 プライマー塗布 エポキシ樹脂モルタルで現況に復元



符号	名称	現況	改修
ア	屋根パラペット (4周) 立上~天端~内側一部	ベニヤ型枠コンクリート打放し、スキン吹付	高圧水洗浄 (60~80kgf/cm ²)、下地調整、ウレタンゴム系塗膜防水 (新設) (現況断面図参照)
イ	屋根屋上 平場~立上り一部	シート防水1.2、シムバ-仕上、下地: 軽量コンクリート、コンクリート打放し (立上り部: 撤去処分、平場: 現況のまま) 防水立上り端部: アルミ押え金物 (撤去処分)	高圧水洗浄 (60~80kgf/cm ²)後、平場: 既存シート防水のまま、立上り部: 撤去、下地調整後 塩ビシート防水1.5mm 平場: 機械式固定法 (新設) 立上り部: 密着カバー工法 (新設) アルミ押さえ金物取付、ポリドーム4周共 (新設)、水切り金物取付 (新設)、シーリング (MS-2) (新設)
ウ	屋根 (一般)	仕上: アスファルトシングル葺 (撤去処分) 下地: アスファルトルーフィング22kg敷き (撤去処分)、下地: スカイモルタル40mm金コテ押え (現況のまま)	高圧水洗浄 (60~80kgf/cm ²)後、カラーガルバリウム鋼板 t=0.35mm葺、断熱バ-ックアップ材: ビ-ス'発泡ポリスチレンフォーム (新設) 下葺材: 改質アスファルトルーフィング t=1.2mm (新設)
エ	軒天	ベニヤ型枠コンクリート打放し、スキン吹付、目地20×10@450	高圧水洗浄 (60~80kgf/cm ²)後 上塗: 耐候性塗料2回塗仕上 (フッ素系) (新設)、下地処理: 溶剤系シーラー1回塗 (新設)
オ	鼻隠し	ベニヤ型枠コンクリート打放し、スキン吹付 (スキンケレン・撤去処分)	高圧水洗浄 (60~80kgf/cm ²)、ひび割れ補修後 上塗: 耐候性塗料2回塗仕上 (フッ素系) (新設)、下地処理: 溶剤系シーラー1回塗 (新設)
カ	外壁 (タイル面)	仕上: 小口タイル60×108貼 (撤去処分) 下地: ベニヤ型枠コンクリート打放し下地 (現況のまま)	タイル撤去後、モルタル金コテ塗 (塗装下地)、目地棒20×10、改修用複層塗材RE塗装仕上 (新設) 下部、巾木はモルタル金コテ仕上げのまま (新設)
キ	外壁 (吹付面)	ベニヤ型枠コンクリート打放し、スキン吹付、目地25×20@430	高圧水洗浄 (60~80kgf/cm ²)後 上塗: 耐候性塗料2回塗仕上 (フッ素系) (新設)、下地処理: 溶剤系シーラー1回塗 (新設)
ク	巾木	ベニヤ型枠コンクリート打放し仕上げ	高圧水洗浄 (60~80kgf/cm ²)のまま
ケ	ポーチ床	豆砂利モルタル洗い出し、目地@900、縁: モルタルコテ押え	高圧水洗浄 (60~80kgf/cm ²)のまま
コ	縦樋	VPI100φ OP塗	高圧水洗浄 (60~80kgf/cm ²)後、仕上塗装: DP塗 (新設)
サ	ドレン	ルーフトレインコーナー型100φ1箇所、VPI100φ2箇所	高圧水洗浄 (60~80kgf/cm ²) 改修用二重ドレン 塩化ビニル ヨコ100φ用設置
シ	ピクトサイン	男・女・身障者: 250×250 ステンレス製 (撤去処分)	本体: ステンレスヘアライン、サイン: シート貼 250×250 (身障者、女子)、250×500 (男子/身障者)、英語表示共 各1箇所 (新設)

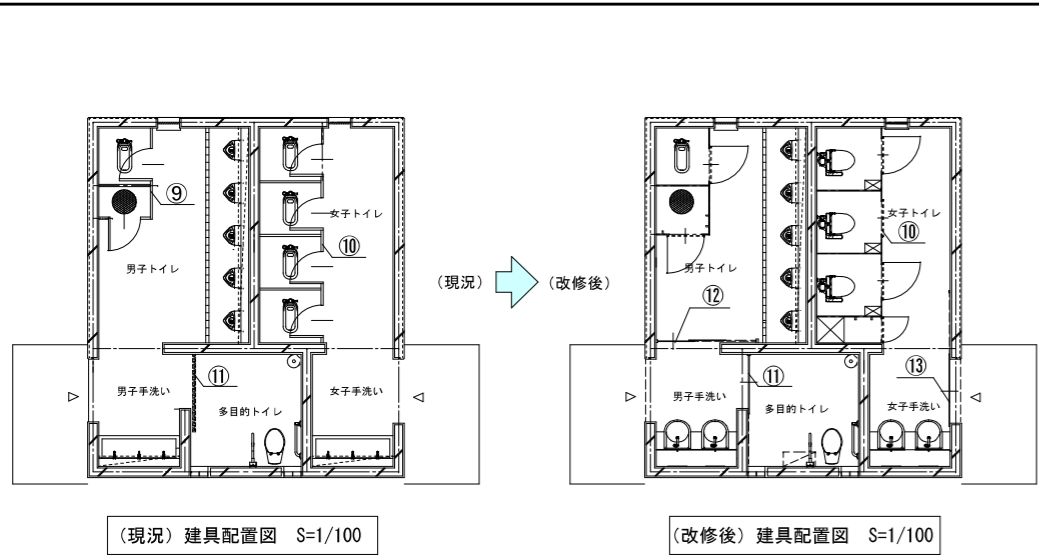


(現況) 断面図 S = 1 / 50



(現況) 断面図 S = 1 / 50

徳島県土整備部宮緒課	工事名称	R2宮緒 鳴門公園 鳴・鳴門 第3駐車場公衆トイレ改修工事建築	図面番号	A-7	max 株式会社 マックス設計 <small>Urban Consultant</small>	〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840
	図名	断面図(現況)	縮尺	A2 1/50 A3 1/71		



(現況) 建具配置図 S=1/100

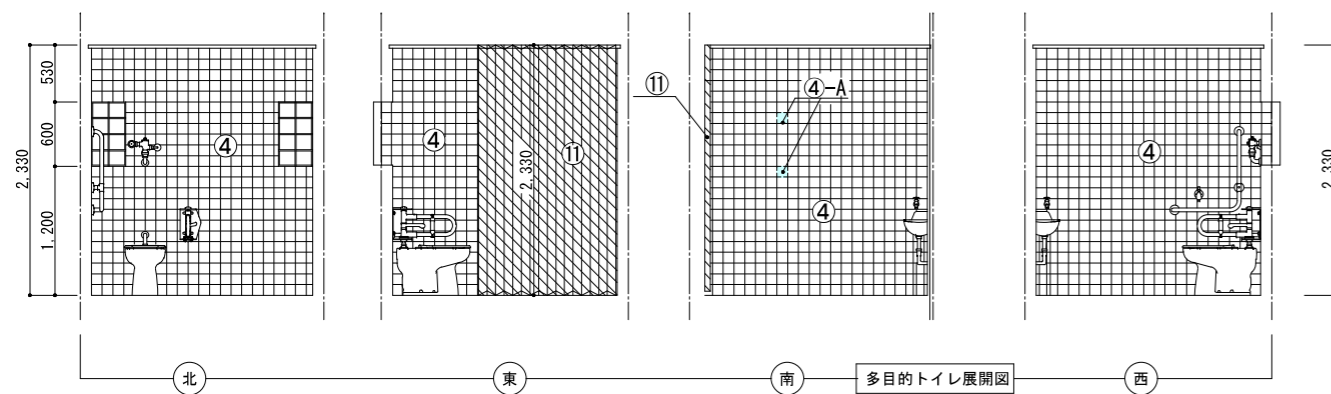
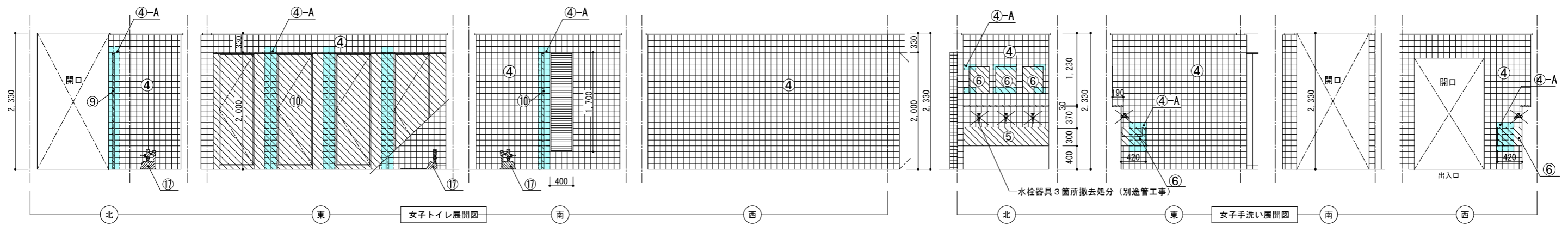
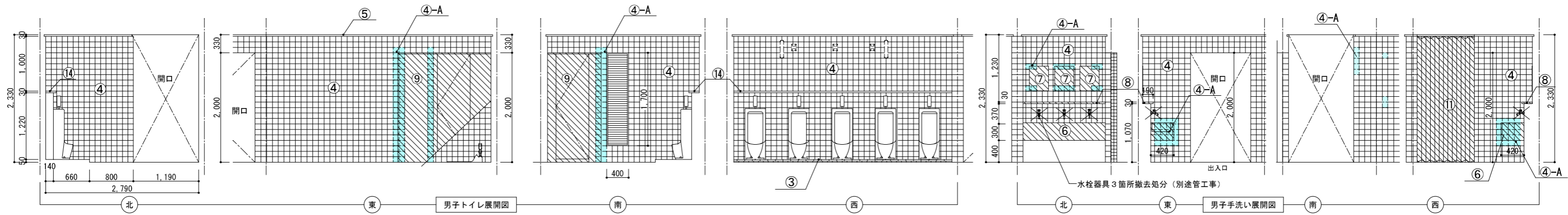
(改修後) 建具配置図 S=1/100




(現況) 建具表 (撤去処分) S=1/50

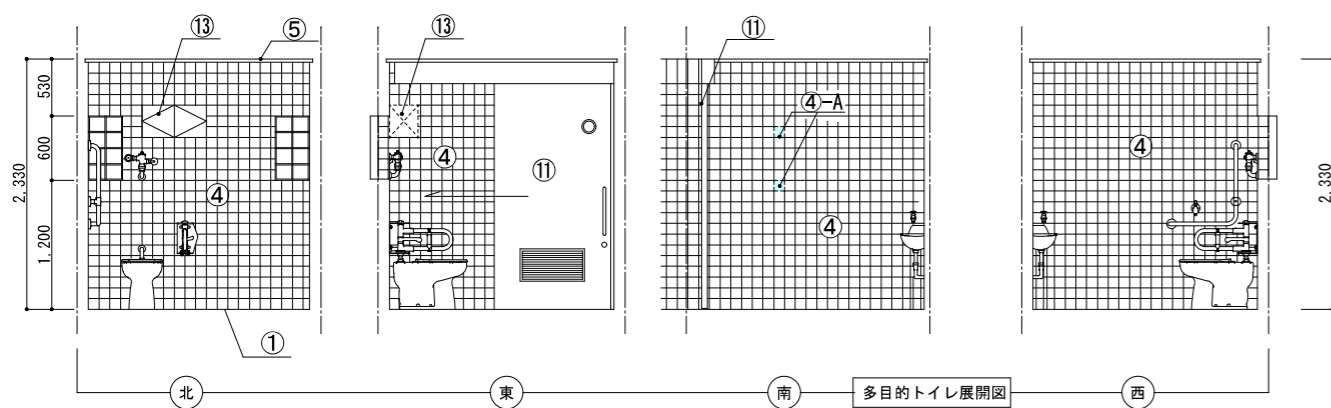
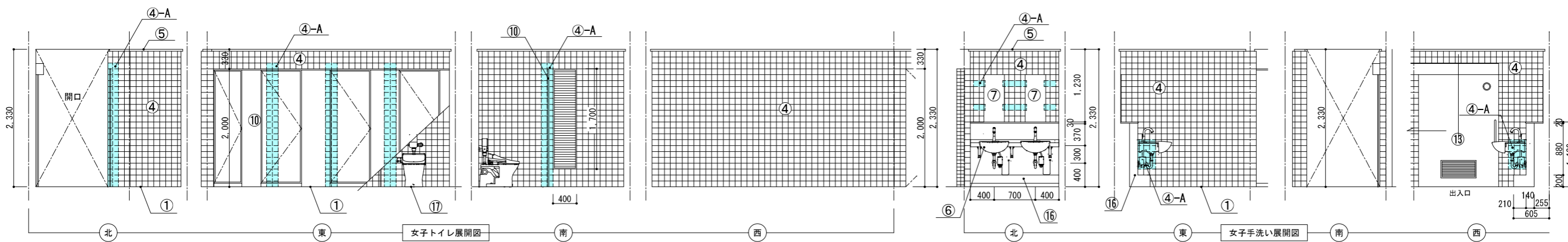
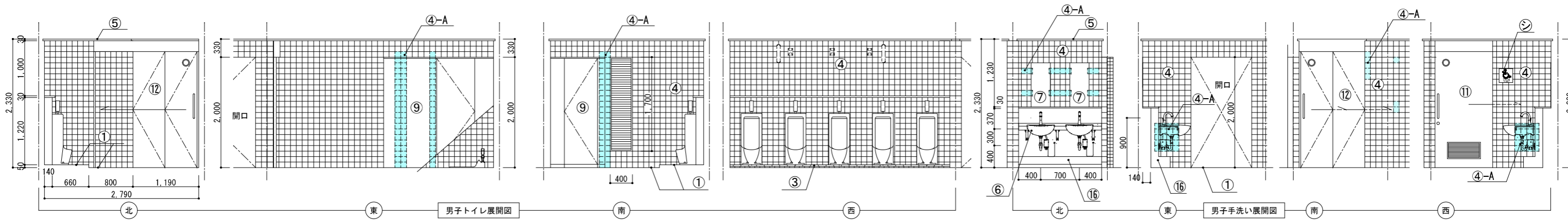
名称	数量	⑨ T B-1 男子トイレ	1箇所	⑩ T B-2 女子トイレ	1箇所	⑪ T B-3 多目的トイレ	1箇所	
型式		トイレブース		同 左		アコーディオンドア		
見込		隔壁: 40 ドア: 30		同 左				
硝子								
仕上		隔壁: テラゾブロック、 ドア: アルミフラッシュ		同 左		レザー		
金物等		SUS頭ツナギ 表示錠 紙巻器 付属金物一式		同 左		アルミレール、取手、付属金物一式		
形状寸法								


(改修後) 建具表 (新設) S=1/50

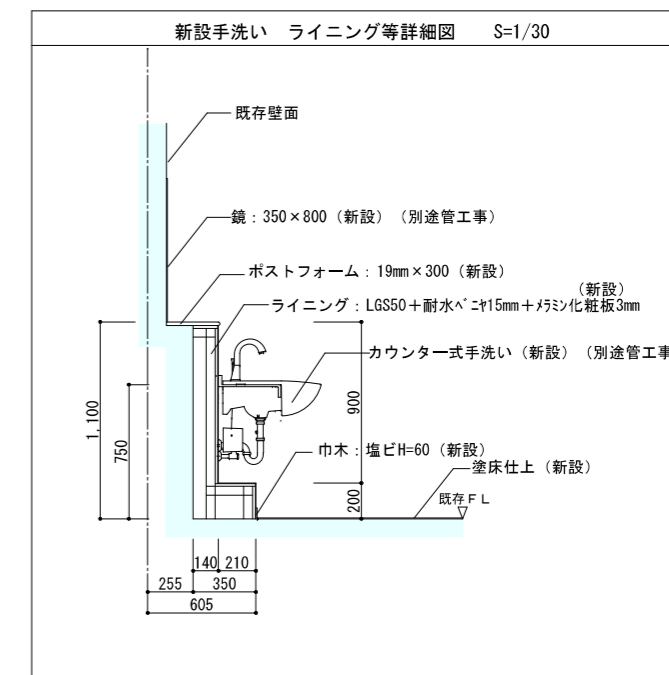
名称	数量	⑨ T B-1 男子トイレ	1箇所	⑩ T B-2 女子トイレ	1箇所		
型式		トイレブース		同 左			
見込		隔壁: 18、 ドア: 13 (コーナーR加工)		同 左			
硝子							
仕上		フェノール樹脂板		同 左			
金物等		ラッチ錠、グレビティ番、戸当り、帽子掛、巾木ステンレス部材		同 左			
形状寸法							
名称	数量	⑪ T B-3 多目的トイレ	1箇所	⑫ T B-4 男子トイレ出入口	1箇所	⑬ T B-5 女子トイレ出入口	1箇所
型式		半自動片引戸 (小窓付、ガラリ付)		半自動2連片引戸 (小窓付)		半自動片引戸 (小窓付、ガラリ付)	
見込		引戸: 13 (コーナーR加工)、 幕板: 18		二連引戸: 13 (コーナーR加工) 幕板: 18		引戸: 13 (コーナーR加工)、 幕板: 18	
硝子							
仕上		フェノール樹脂板		同 左		同 左	
金物等		ラッチ錠、非常時解錠、ドアハンドル、引戸装置、SUS製ガラリ、アクリル窓 (100φ)		ドアハンドル、引戸装置、アクリル窓 (100φ)		ドアハンドル、引戸装置、SUS製ガラリ、アクリル窓 (100φ)	
形状寸法							

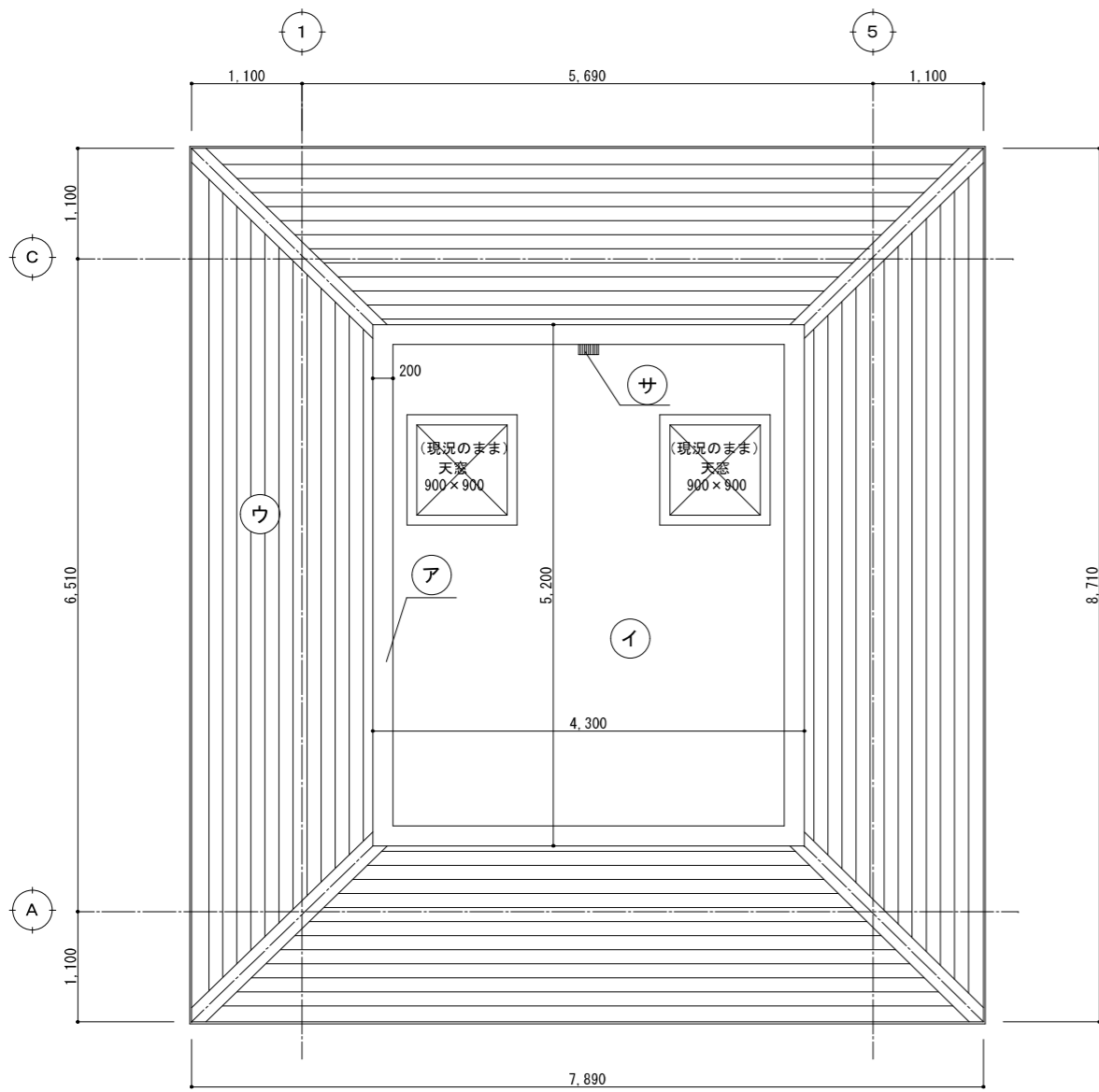


- 凡例:  は、既存カラータイル貼撤去処分を表わす。(カッター切共)
- 凡例:  は、撤去処分を表わす。
- 凡例:  は、設備器具撤去処分を表わす。(設備工事)

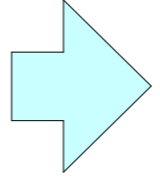


凡例：
 は、既存カラータイル貼替えを表わす。

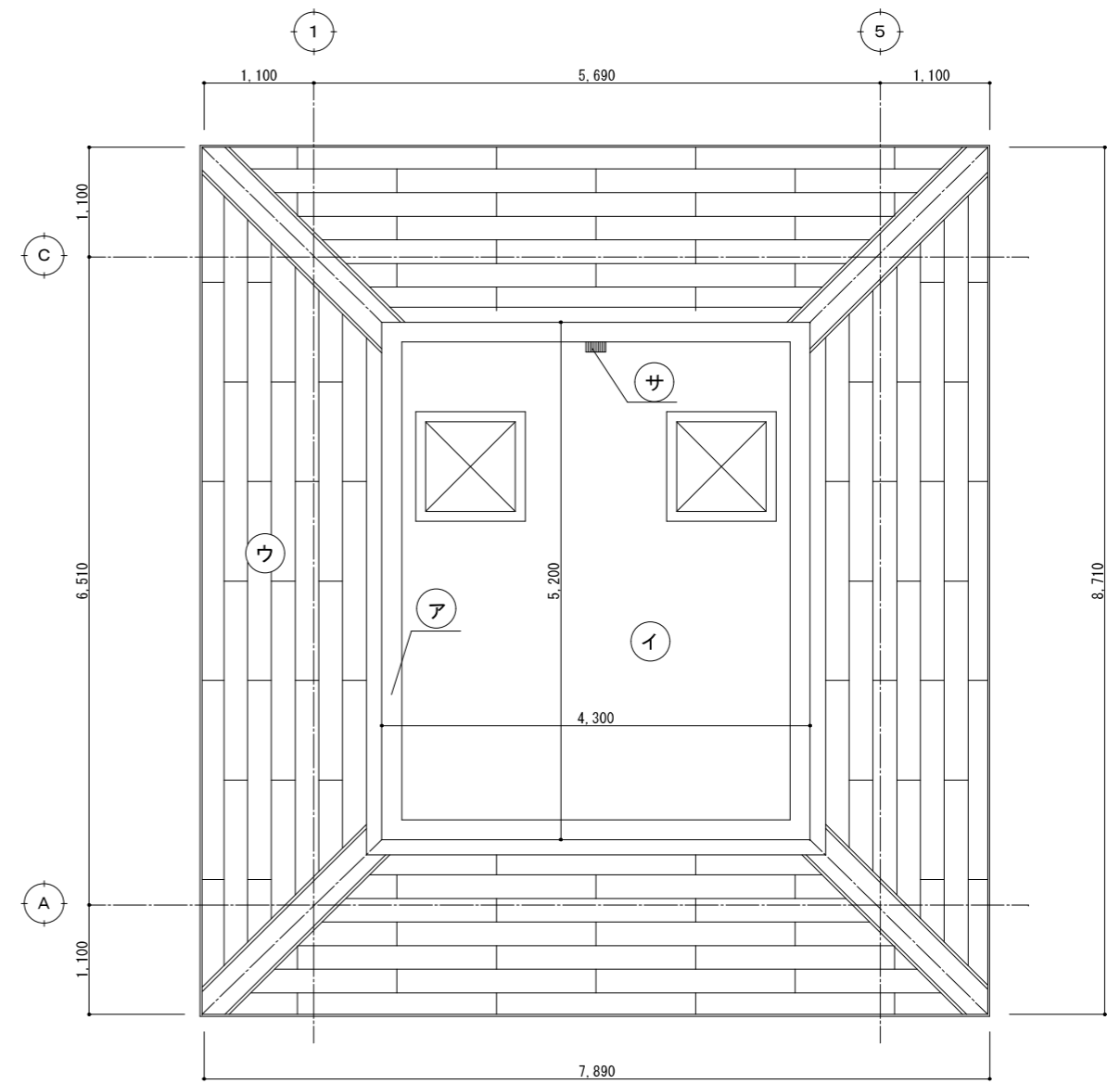




(現況) 平面図 S=1/50

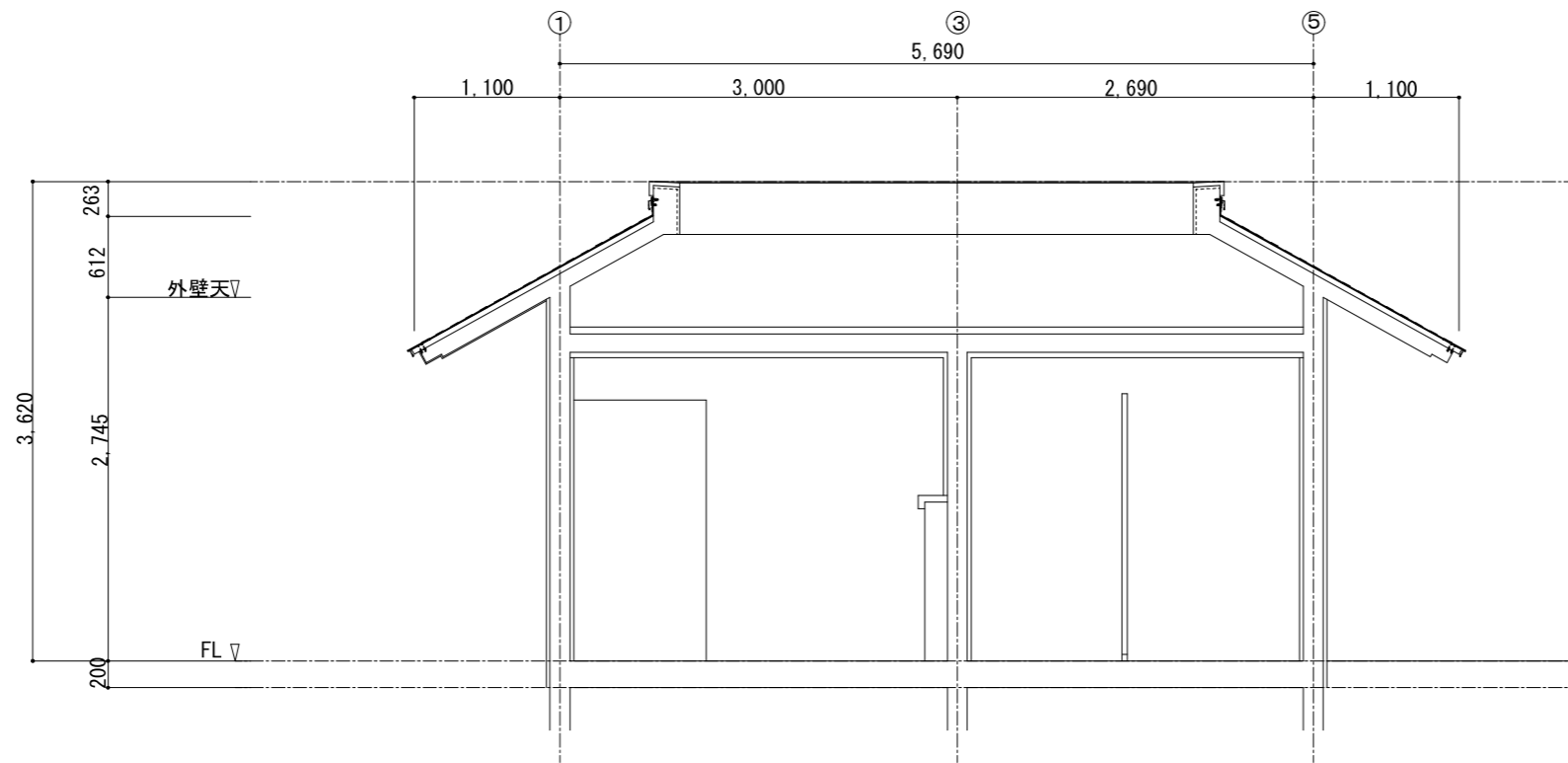


(現況) (改修後)



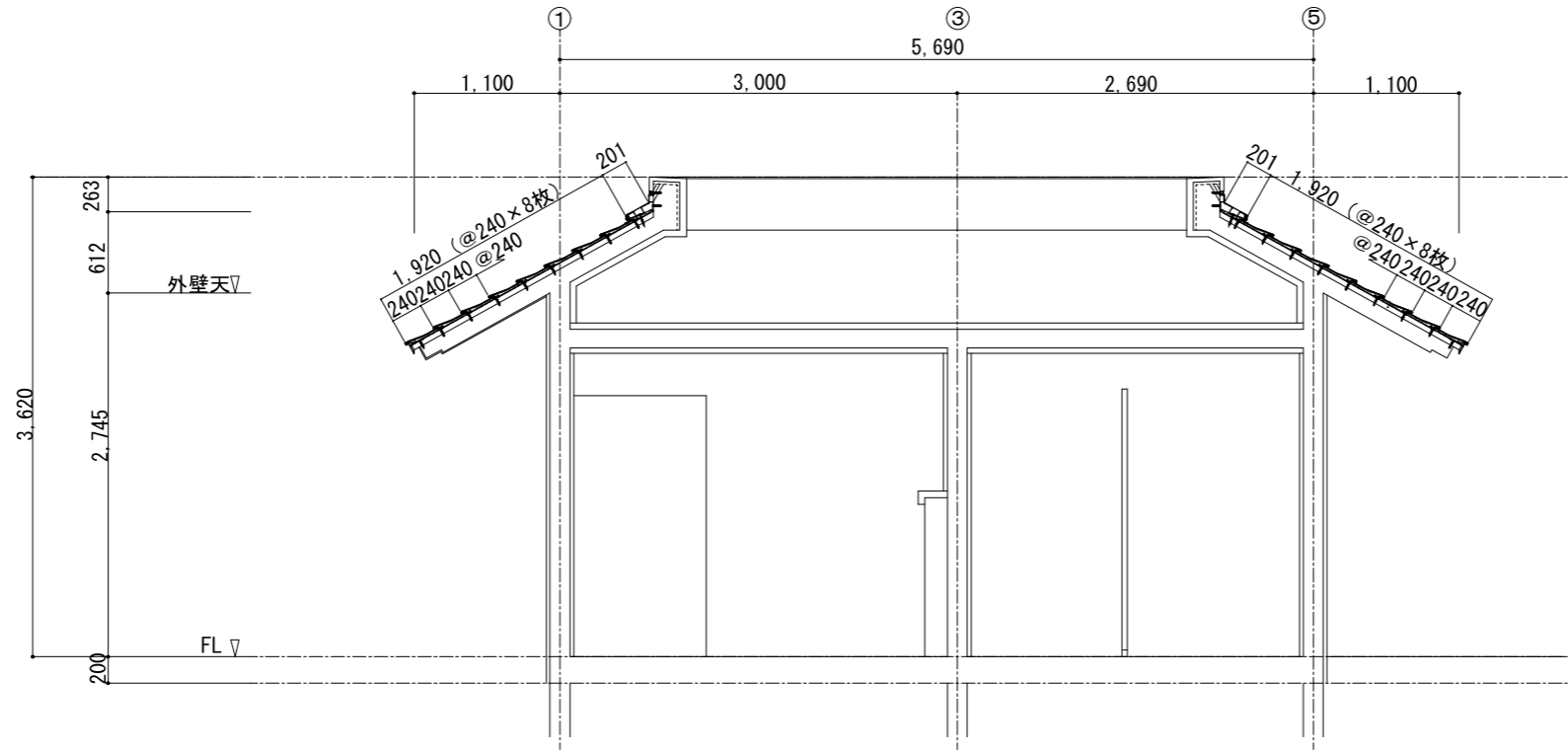
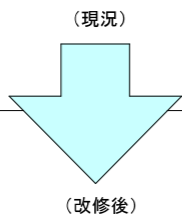
(改修後) 平面図 S=1/50

徳島県土整備部営繕課	工事名称	R2営繕 鳴門公園 鳴・鳴門 第3駐車場公衆トイレ改修工事建築	図面番号	A-11		max 株式会社 マックス設計 <small>Urban Consultant</small> 大匠登録 第302457号 知事登録 第61074号 一級建築士 田 淵 宏 樹	〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840
	図名	屋根伏図 (現況) → (改修後)		縮尺	A2 1/50 A3 1/71		



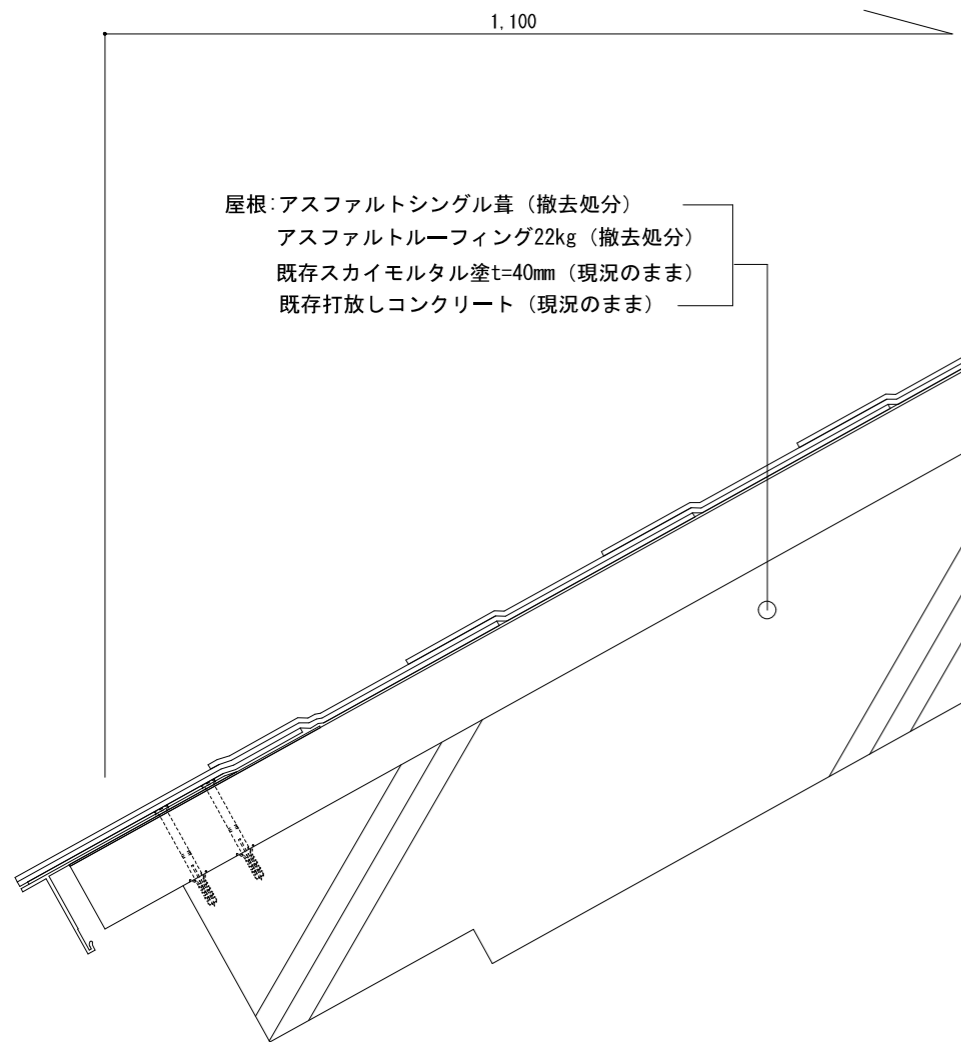
屋根: アスファルトシングル葺 (撤去処分)
 アスファルトルーフィング22kg (撤去処分)
 既存スカイモルタル塗t=40mm (現況のまま)
 既存打放しコンクリート (現況のまま)

(現況) 屋根断面図 S=1/40

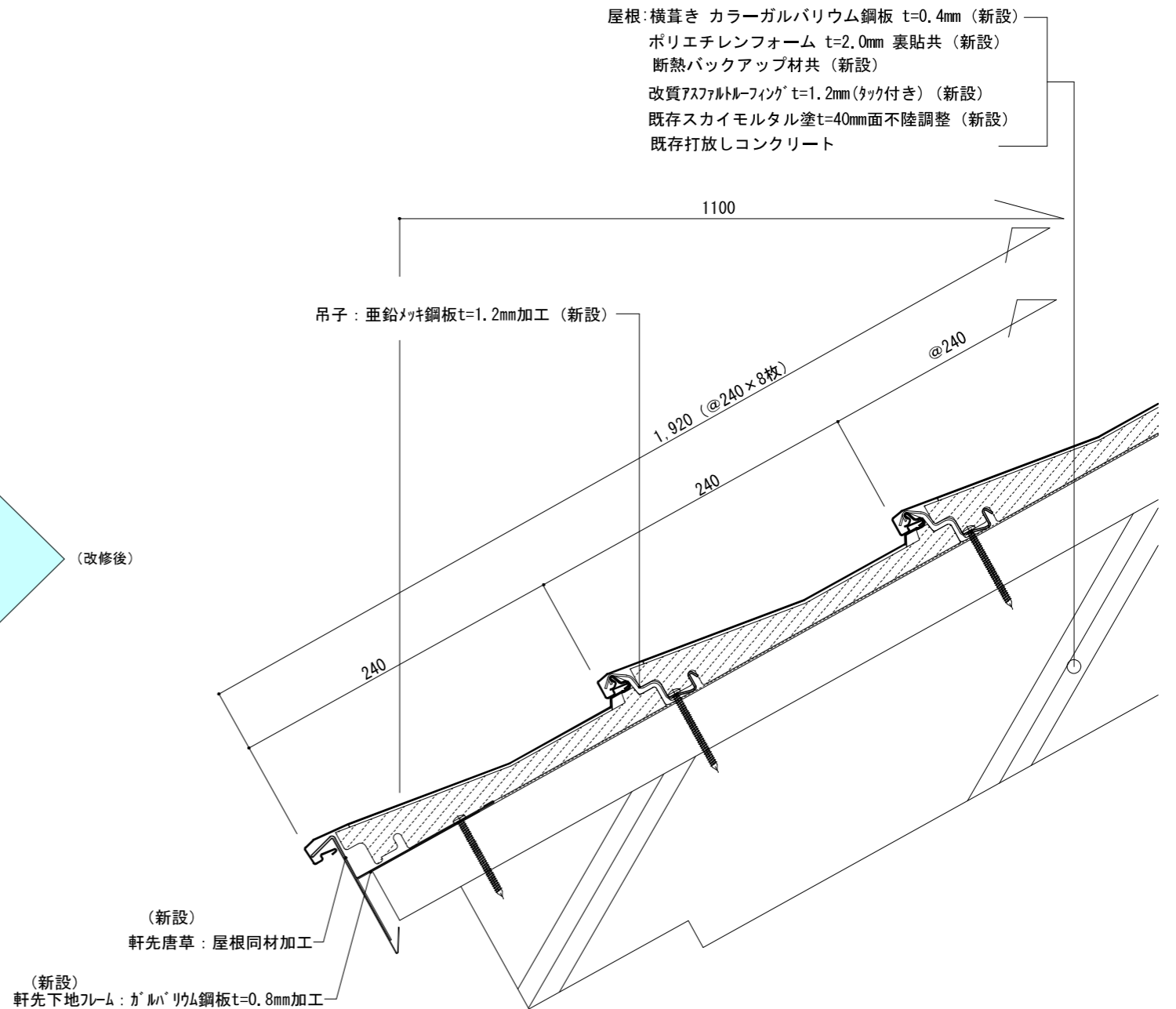
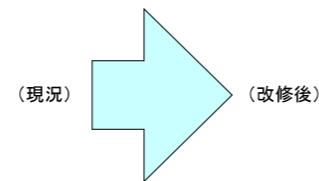


屋根: 横葺き カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm (新設)
 ポリエチレンフォーム t=2.0mm 裏貼共 (新設)
 断熱バックアップ材共 (新設)
 改質アスファルトルーフィング t=1.2mm (タック付き) (新設)
 既存スカイモルタル塗t=40mm面不陸調整 (新設)
 既存打放しコンクリート

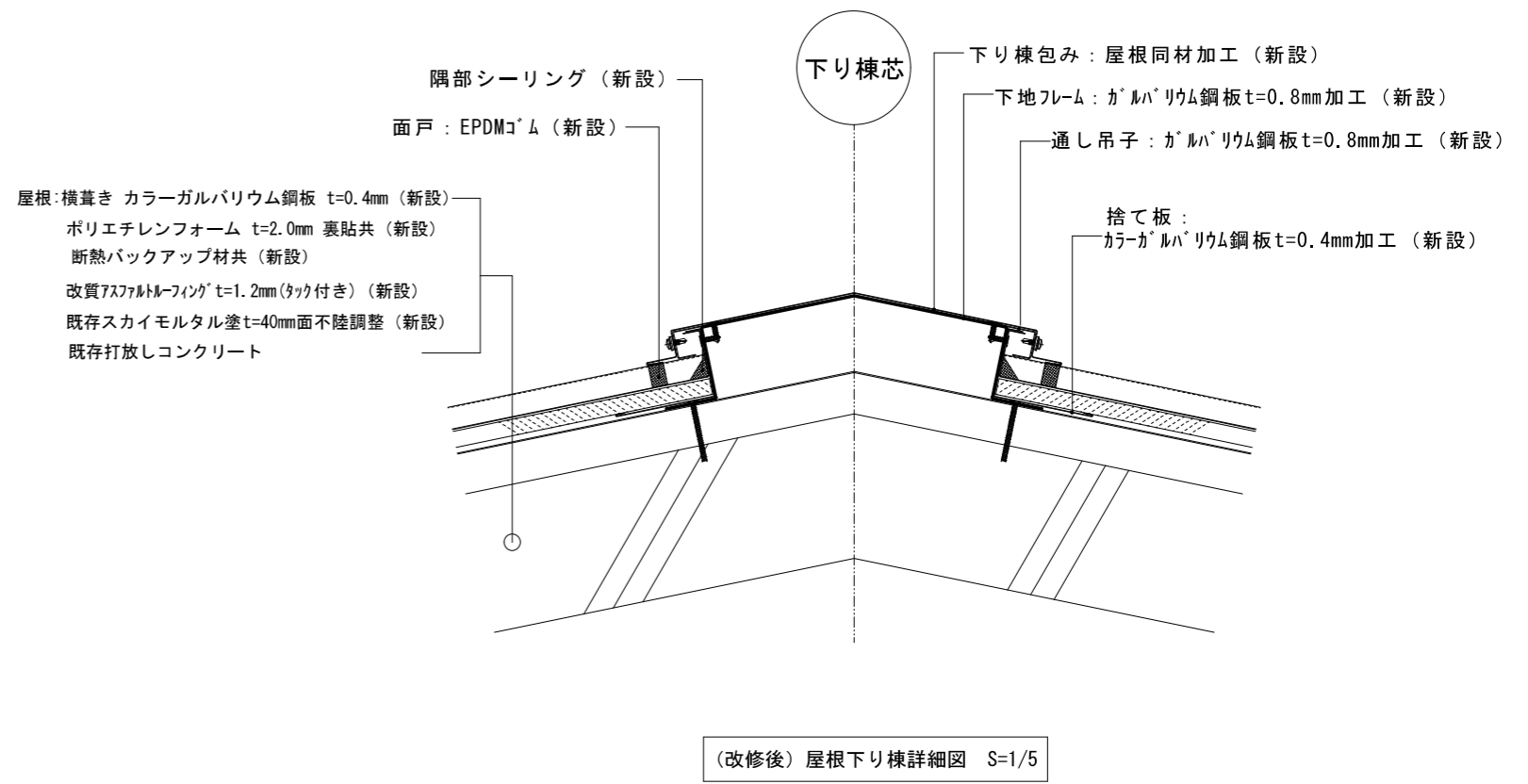
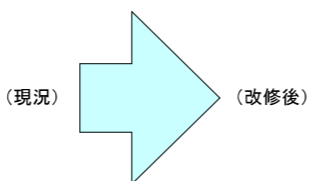
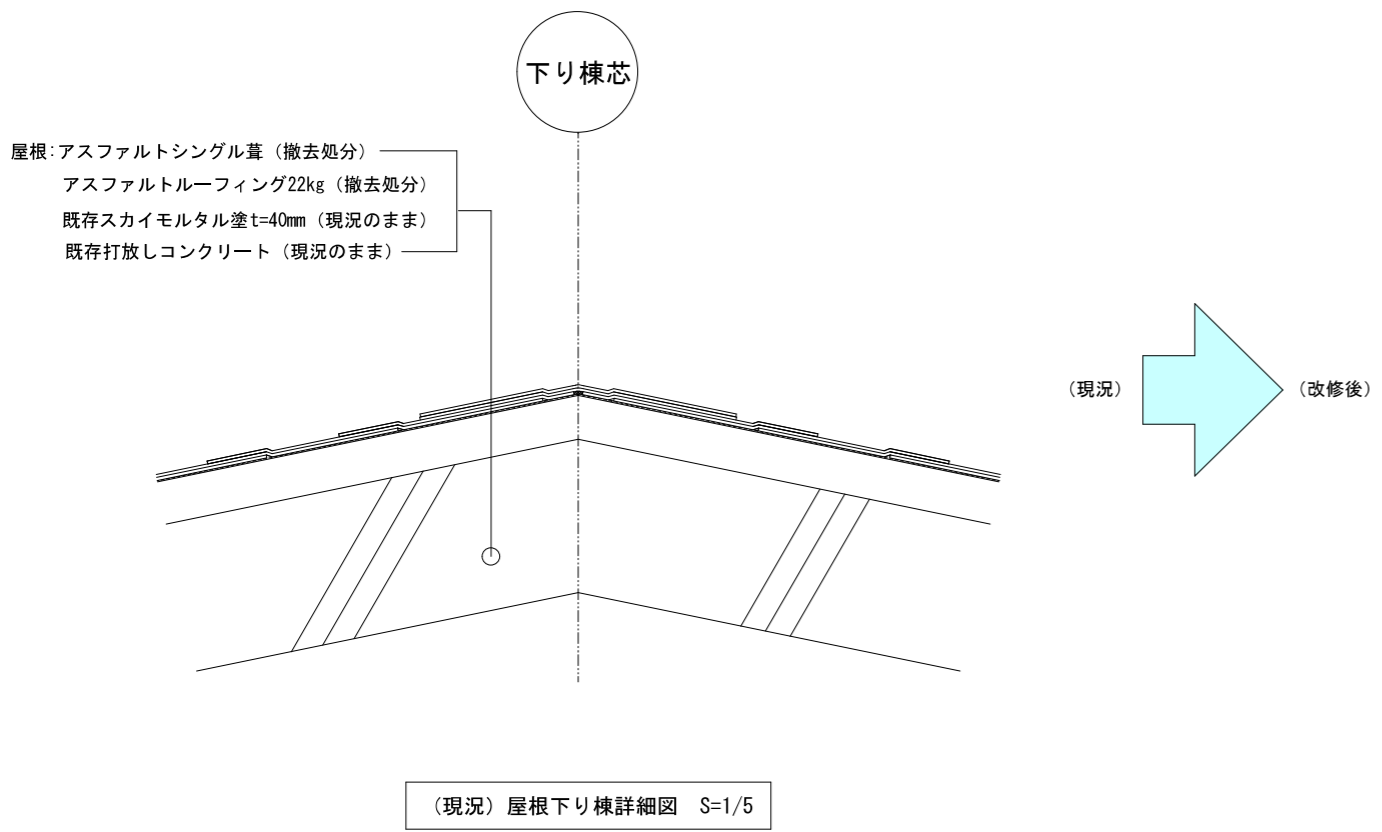
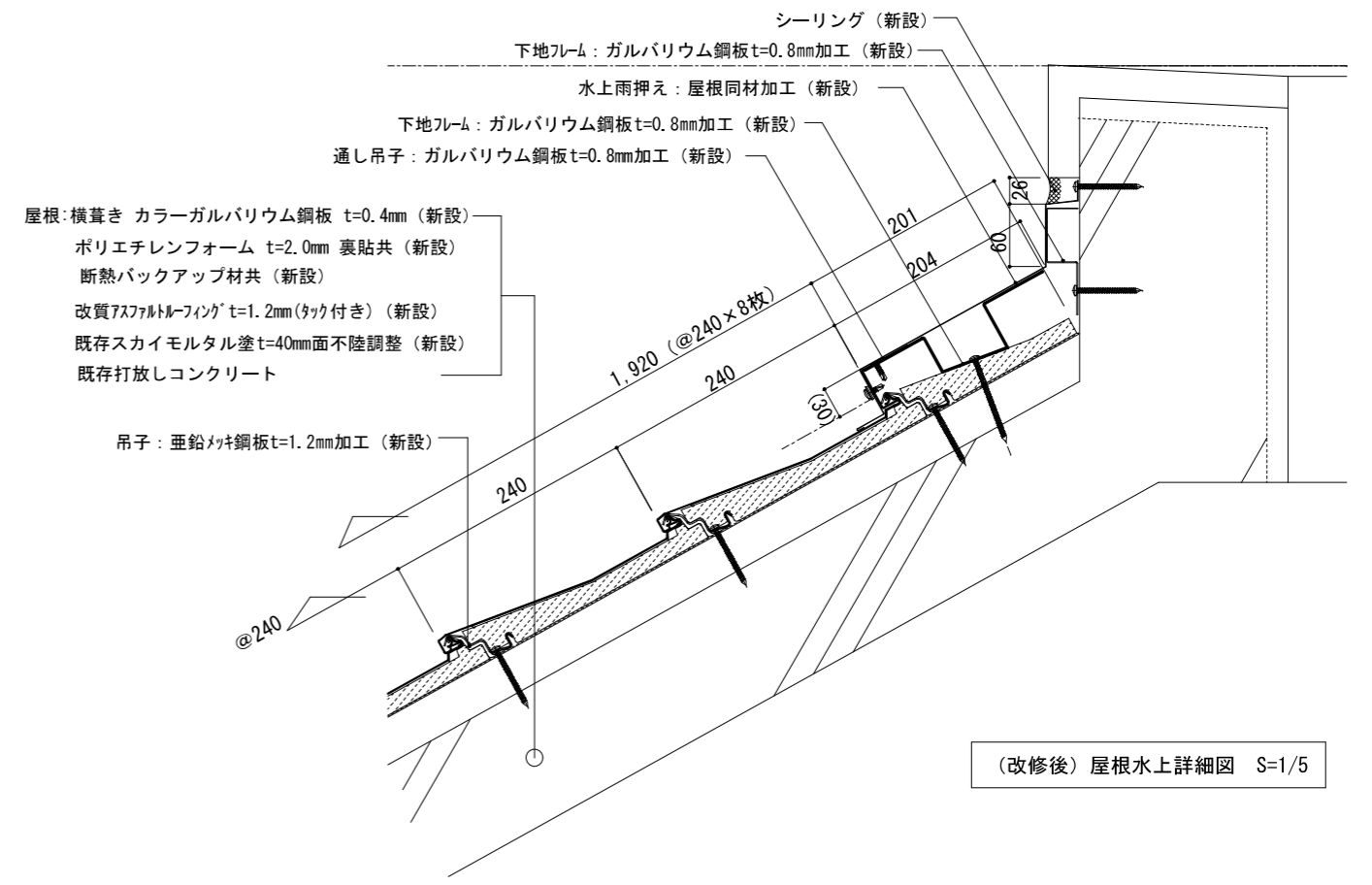
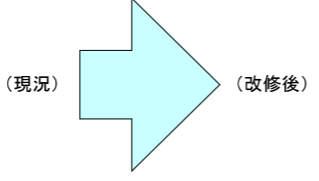
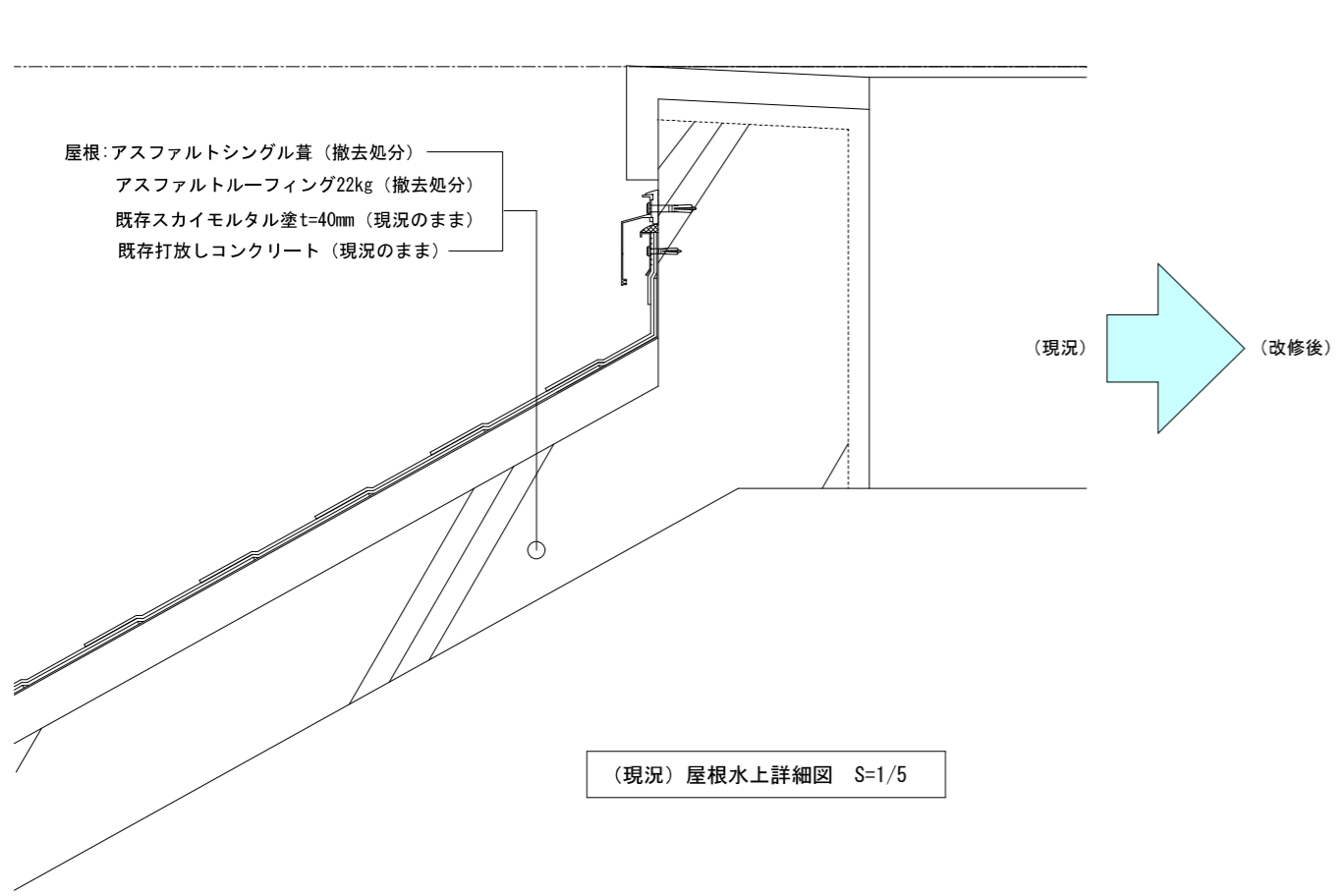
(改修後) 屋根断面図 S=1/40



(現況) 屋根軒先詳細図 S=1/5



(改修後) 屋根軒先詳細図 S=1/5



徳島県土整備部営繕課	工事名称	R2営繕 鳴門公園 鳴・鳴門 第3駐車場公衆トイレ改修工事建築	図面番号	A-14	max 株式会社 マックス設計 <small>Urban Consultant</small> 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 大庄登録 第302457号 知事登録 第61074号 一級建築士 田 淵 宏 樹 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840
	図名	屋根水上・下り棟詳細図 (現況) → (改修後)	縮尺	A2 1/5 A3 1/7.1	

電気工事仕様書

I. 工事種目

種 目	工 事 概 要
電 灯 ・ コンセント設 備	既設照明器具の改修工事及びコンセントの新設工事一式
撤 去 工 事	既設照明器具改修工事に伴う撤去工事一式

II. 共通仕様

特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)」（ただし、改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)）」及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成31年版)」による。なお、本工事が建築工事又は機械設備工事を含む場合は、それぞれの工事に係る標準仕様書による。また、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和元年版)」を参考とする。

II.1. 特記仕様1(一般共通事項)

- 本工事に必要な工事用電力、水などの費用及び官公署への諸手續などの費用は本工事に含む。
官公署その他への届出手続等は(標仕 <I>1.1.3)により行う。なお、(監理指針 <I>1.1.3)を参考とする。
- 工事の着手に先立ち工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督員に提出する。また、品質計画及び工種別の施工計画書並びに施工図等を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。品質計画及び施工図等については、監督員の承諾を受ける。(標仕 <I>1.2.2、<I>1.2.3)
品質管理は、適切な時期に品質計画に基づき確認、試験又は検査を行う。結果が管理値を外れるなど疑義が生じた場合は、品質計画にしたがって適切な処理を施す。
また、その原因を検討し、再発防止のための必要な処置をとる。(標仕 <I>1.3.4、監理指針 <I>1.3.4)
使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料(製作図、試験成績書を含む)を監督員に提出する。(JISマーク等表示品を除く)(標仕 <I>1.4.2)
上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。
- 設計図書に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、「疑義に対する協議等」(標仕 <I>1.1.8)による。
- 本工事の施工及び管理にあたり法規上必要となる有資格者については、工事着手前に資格者名簿を提出する。
- 本工事のうち建築工事、電気工事及び管工事について下請業者を使用する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定すること。
- 機器類は、図示する形状又は配管などの取出し位置等により、特定製造者の特定の製品を指定若しくは限定しない。
- 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。(改修標仕 <I>2.11.3)
梁、スラブ等の構造体貫通の場合は、施工方法について監督員の確認を受けた後に施工する。
- 本工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。
- 発生材の処理等は、「発生材の処理等」(標仕 <I>1.3.9)により行う。
 - PCBを含む機器は、調書を添えて引き渡すとする。
 - 空調機等の整備や撤去処分を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律をはじめとする関係法令に基づき、作業や手続きを行う。家電リサイクル法に該当する機器については、家電リサイクル法により処理すること。
- 耐震施工
「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説(平成8年版)(建設大臣官房官庁営繕部監修)」によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針(2005年版)(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。
 - 本工事の建物分類は(特定の施設・**一般の施設**)であり、地域係数は(**1.0**・0.9)とする。
 - 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合の設計用水平震度は次による。

設計用標準水平震度		特定の施設		一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中層階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

(注) 上層階の定義は次のとおりとする。

2～6階の場合は最上階、7～9階の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階

重要機器 (・ 配電盤 ・ 自家発電装置 ・ 交換機 ・ 直流電源装置 ・ UPS ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視制御装置 ・ 構内情報通信網装置 ・)

- 設計用鉛直地震力は、設計水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
- 質量100kg以下の軽量な機器(標仕の適用を受けるものは除く)の取付については、機器製造者の指定する方法で確実に取付けを行うものとし、特に計算を行わなくともよい。

- 各種荷重計算
対象機材 (・ 避雷針支持管 ・ テレビアンテナマスト ・ 風力発電装置 ・ 太陽電池アレイ ・)
- 強度計算
対象機材 (・ ブロックマンホール及びハンドホール ・ 自家発電装置配管類支持材 ・ ケーブルラック支持材 ・ 垂直ケーブルの最終端支持材 ・ 照明用ポール ・)
- コンクリート工事
受変電盤基礎 (・ 強度試験 (・ 公共試験機関 ・ JIS工場) ・ 構造体強度補正值(S)による補正 ・ 調査表提出 ・ アルカリ骨材反応抑制対策確認 ・ 鉄筋材料の規格品証明書提出)

※強度試験の立会いについて、試験を第3者機関で行う場合は、現場代理人又は主任(監理)技術者が、JIS工場の場合は、立ち会い者を定め監督員の承認を受け行うものとする。

IV. 特記仕様2(特記事項)

- 最上階の天井配管は、原則二重天井内のいんべい施工とし、屋上スラブへの埋め込みは行わない。(最上階が二重天井の場合に限る。)
- 長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。(標仕 <2>2.2.9、<2>2.12.4)
- フラッシュプレートの材質は新金属製とする。
- カバープレート及びプルボックス蓋にはシール等で用途別表示を行う。なお、屋外部分の表示はエッチングプレート等の耐候性を有するものとする。
- 盤内、幹線プルボックス内、ケーブルラック上の要所、マンホール・ハンドホール内、その他の要所には合成樹脂製、ファイバ製等の表示札等を取付け、回路の種別、行先等を表示する。(標仕 <2>2.2.10、<2>2.12.5)
なお、屋外において直接外気に触れる場所(盤内、プルボックス内を除く。)及びマンホール・ハンドホール内の表示札等はエッチングプレート等の耐候性を有するものとする。
- 屋外の金属製防水形プルボックスは、(ステンレス製・銅板製)とし、(メラミン焼付塗装・溶融亜鉛めっき製・塗装を行わない)とする。
- スリーブ材料及び施工は、標仕 <1>2.9.1、標準図 電力71～74、監理指針 <1>2.9.1、<2>2.1.13 による。
- 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線で、配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督員との協議により図面表示と多少相違させてよい。
- 分電盤からの予備配管として、分電盤の予備回路数(スペースを含む)に応じた配管を天井裏まで立上げる。
- E接地極の材料はEBとしD=10、L=1,500とする。接地極の埋設位置には、屋外灯のポール等で埋設位置が明確な場合を除いて接地極埋設標を設ける。
- PF管は波付一重管、タイプ-25とする。
- 屋外及びビット内の支持金物等はステンレス製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき製(HDZ35以上)とする。
- あと施工アンカーボルトの選定については、次による。
 - 機器類の固定には、金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーを使用し、次の機器については、施工後確認試験を行う。(・ 受変電設備 ・ 自家発電装置 ・ 太陽光発電設備(蓄電池を含む) ・ 配電盤)
 - 配管の吊り及び支持材の固定には、その自重に十分耐えるアンカーを使用する。なお、耐震支持に使用する躯体取付用のアンカーは金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーとする。
 - 屋外に使用するものはステンレス製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき製(HDZ35以上)とする。
- 次の部分の露出する電線管、支持金物、架台等は塗装を行う。
(・ 一般居室、廊下等 ・)
亜鉛めっき金属電線管はエッチングプライマー1種(JIS-K-5633)による化学処理を行った後調合ペイント2回塗りとする。
屋内、屋外及びビット内の支持金物等のうち、ステンレス製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき製のものは、原則塗装を行わない。屋外布設の厚鋼電線管は、めっき付着量が300g/m²のものを使用し、塗装不要とする。
- 地中管路の埋設深さは車両道路は0.6m以上、それ以外は0.3m以上とし、高压地中配線以外も埋設標識シートにより埋設標示を行う。
- 地中管路に耐候性のない管材を使用する場合は、地上立ち上がり部に耐候性のある管材に接続すること。
- 改修又は増設工事等において既設配線との接続が本工事に含まれる場合は、工事着手前及び工事完了後に既設配線の絶縁抵抗を測定する。
- 分電盤等において、外部から分岐回路の接地線を接続する端子又は銅帯は、分岐回路の配線用遮断器等の負荷側近くに設ける。(標仕 <2>1.7.4) なお、単線接地線の接続にはセルフアップねじ等電線じか接続可能な端子とすることが望ましい。
- 太さ14mm²以上の電線をターミナルラグにより機器に接続する場合は、増補確認の表示を行う。(標仕 <2>2.1.2)
- ケーブルを集合して束ねる場合は、許容電流について必要な補正を行い、配線の太さに影響を与えない範囲で束ねる。(標仕 <2>2.10.4.5)
- 機材の検査に伴う試験については、標仕 <I>1.4.5]により行う。
製造者において試験方法を定めている項目については、試験要領書を提出する。
- 通信・情報設備の弱電流電線は絶縁抵抗測定を行う。(標仕 <6>2.28.2)
- 自家用電気工作物の保安規程に基づき、電気主任技術者による工事中の点検並びに工事完成時の検査を実施し、成績書を提出する。

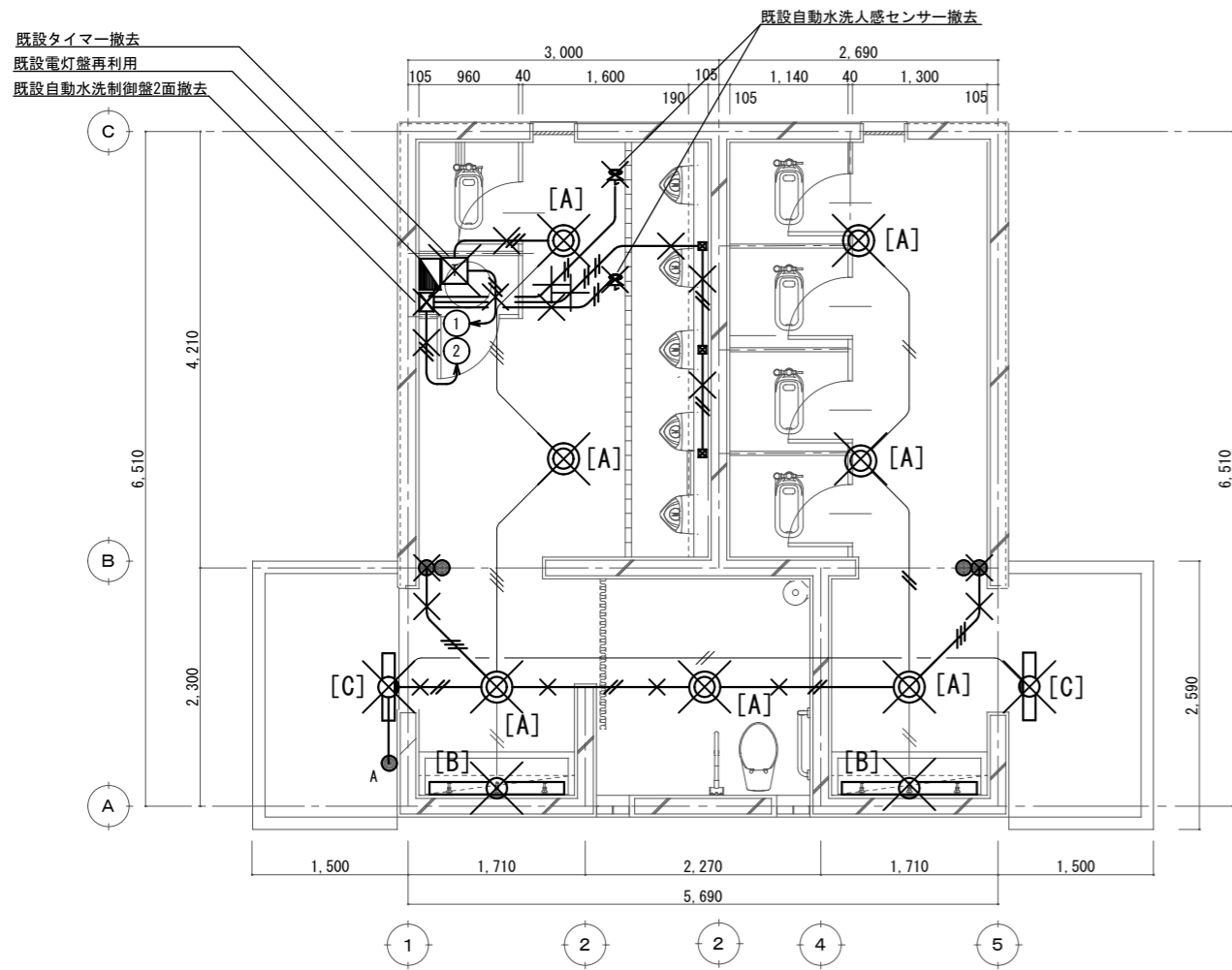
V. 機材等

- 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの、又は同等のものとする。ただし、同等のものを使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。
- 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(3)の事項を満たすものとし、証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたものを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。
 - 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
 - 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。
 - 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

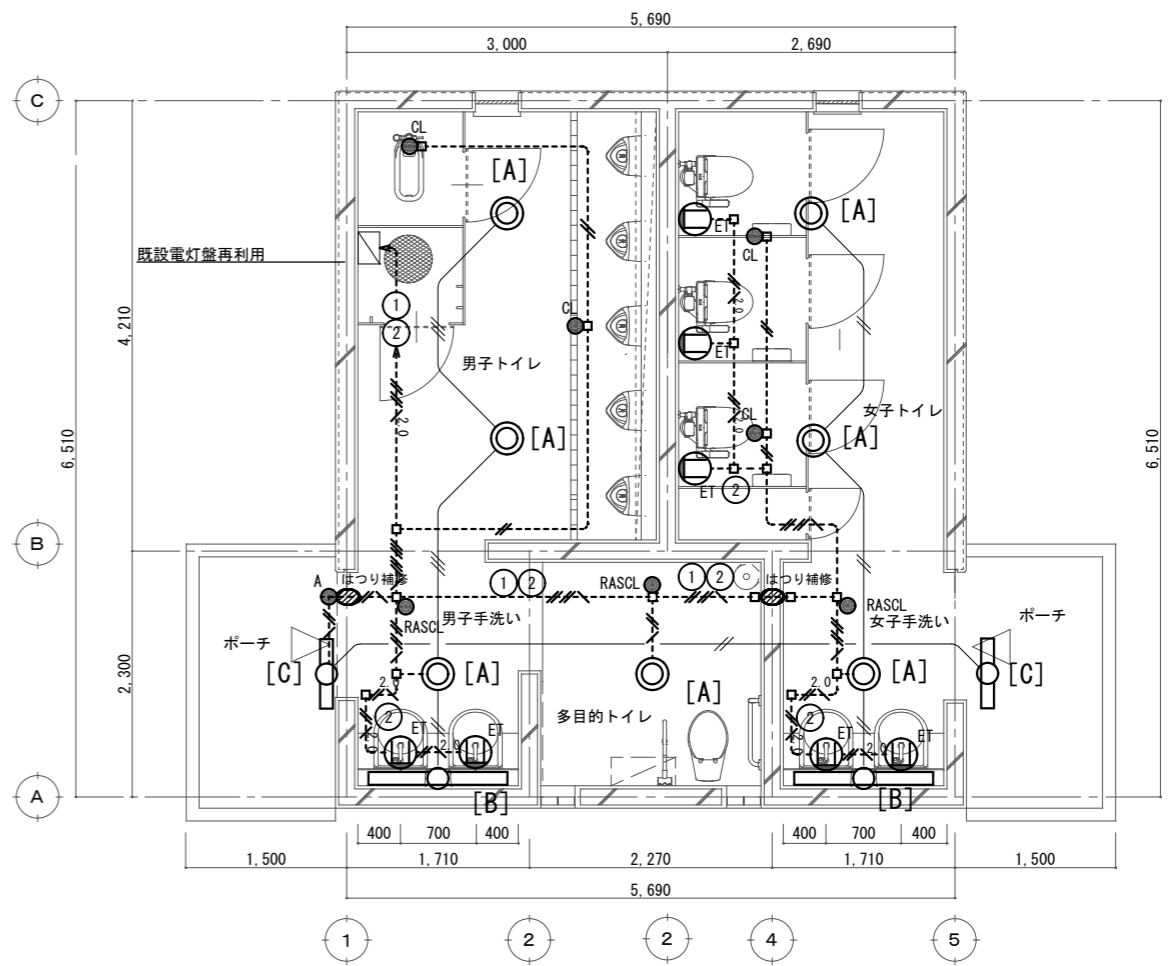
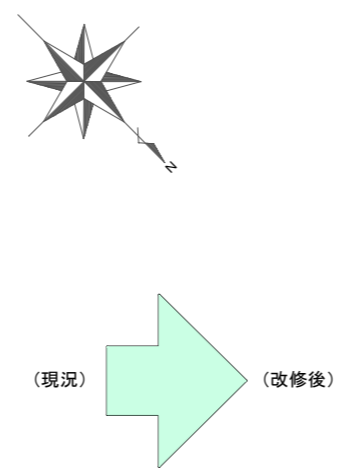
品 目	機 材 名 ・ 注 記
蛍光灯器具	防燥及び防災用照明器具を除く。
盤類	分電盤(実験盤を含む)、制御盤、キュービクル式配電盤、高圧スイッチギヤ(CW形、PW形)
高圧機器	高圧交流遮断器、高圧進相コンデンサ、高圧限流ヒューズ、高圧負荷開閉器 高圧変圧器(特定機器)、高圧避雷器
蓄電池	ベント形据置鉛蓄電池、制御弁式据置鉛蓄電池 据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池
交流無停電電源装置	300kVA以下のもの
太陽光発電装置	出力10kW以上のパワーコンディショナ及び系統連系保護装置(系統連系保護機能を有するパワーコンディショナを含む。) ※太陽電池アレイ及び接続箱を除く
監視カメラ装置	
中央監視制御装置	
鋼鉄製ふた(マンホールふた)	

工事名称	R 2 営繕 鳴門公園 鳴・鳴門 第 3 駐車場公衆トイレ改修工事	
図名	電気工事特記仕様書	
縮尺	A2	
	A3	

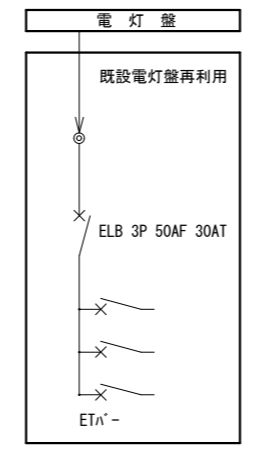
図面番号	E - 1	max Urban Consultant 株式会社 マックス設計	〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2
			大臣登録 第302457号 知事登録 第61074号 一級建築士 田 淵 宏 樹



(現況) 平面図 S=1/50



(改修後) 平面図 S=1/50



回路No	容量(KW)	配線用遮断機	負荷名称
①	134	S B 2P 30AF 20AT	照明
②	1280	S B 2P 30AF 20AT	コンセント
③		S B 2P 30AF 20AT	予備

- 特記なき新設配線は下記による
- EM-EEF 1.6 - 2C (MMA)
 - EM-EEF 1.6 - 2C, E1.6 (MMA)
 - EM-EEF 2.0 - 2C, E1.6 (MMA)
 - EM-EEF 2.0-2Cx2, E1.6 (MMB)
 - EM-EEF 2.0-2C, 1.6 - 2C, E1.6 (MMB)
 - EM-EEF 2.0-2Cx2, 1.6 - 2C, E1.6 (MMB)
 - 既設配線

● A	自動点滅器 プラグイン3A	
● RASCL	天井付壁付センサー付自動スイッチ親器 3A, AC100V 15Sec~30Min明るさセンサー付	WTK4431
● CL	天井付熱線センサー付自動スイッチ子器 1A, AC100V 10Sec~30Min	WTK4911
	自動スイッチ点灯時間は1~2minに設定のこと	
● ET	埋込コンセント 2P15A×1, ET 30mm露出ボックスに取付	

撤去器具

記号	名称・仕様	数量	備考
[A]	FCL30W シーリングライト	7	
[B]	FL40W ブラケット	2	
[C]	FCL30W ブラケット	2	

- 特記なき配線は下記による
- IV1.6(19) 既設配線再利用
 - × 既設撤去を示す(配管は残置とする)

- ・ 図中明記無き装置及び配線配管であっても本工事施工上支障となる場合は、移設、撤去等適切な処置を行う。
- ・ 既設コンクリート壁・床などの配管貫通口穴は、原則としてダイヤモンドコアクッターを使用すること。
- ・ 必要に応じ既存施設・装備品等の汚損対策として養生保護を行うものとし、万一汚損した場合は速やかに補修復旧すること。
- ・ 本工事に関連する既存設備については、事前に絶縁測定、動作試験等の調査を行い設備の状態を確認、記録しておくこと。

[A]	[B]	[C]
LEDシーリングライト 30形丸形蛍光灯1灯器具相当	LEDウォールライト 40形	LEDウォールライト 20形
器具光束965lm、消費電力10.7W、電圧100V 拡散タイプ、防湿型・防雨型、天井直付型・壁直付型、ネジ込み方式 本体：プラスチック（ホワイト） カバー：アクリル（乳白）	防湿型・防雨型 器具光束2210lm、消費電力19.1W、電圧100~242V 5000K、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁直付型	防湿型・防雨型 器具光束1020lm、消費電力10.2W、電圧100~242V 5000K、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁直付型